

目次

■ 第1章 農業の概要

- 1 青森県の自然…………… 1
- 2 農業産出額…………… 2

■ 第2章 畜産の概要

- 1 畜産産出額…………… 3
- 2 主要家畜の頭羽数…………… 3

■ 第3章 家畜飼養動向

- 1 乳用牛…………… 4
- 2 肉用牛…………… 6
- 3 豚…………… 8
- 4 採卵鶏…………… 10
- 5 ブロイラー…………… 11
- 6 その他…………… 12

■ 第4章 畜産物の流通と価格

- 1 牛乳…………… 13
- 2 肉用牛…………… 15
- 3 豚…………… 17
- 4 鶏卵…………… 19
- 5 ブロイラー…………… 21
- 6 畜産物支出金額、購入数量…………… 22

■ 第5章 畜産物の生産費と収益性

- 1 生乳…………… 23
- 2 肉用牛…………… 24
- 3 豚…………… 26

■ 第6章 草地と飼料

- 1 自給飼料の生産…………… 27
- 2 草地面積…………… 28
- 3 配合飼料の生産…………… 29
- 4 青森県飼料作物奨励品種…………… 30

■ 第7章 家畜衛生

- 1 家畜防疫事業の推移…………… 31
- 2 監視伝染病発生状況…………… 32

■ 第8章 環境保全

- 環境汚染発生状況…………… 33

■ 第9章 参考資料

- 1 青森県酪農・肉用牛生産近代化計画の目標…………… 34
- 2 青森県養豚・養鶏振興プランの目標…………… 35
- 3 畜産行政組織の概要…………… 37
- 4 試験研究機関…………… 38
- 5 行政区域・各機関所在地…………… 38
- 6 畜産関係機関・団体…………… 39
- 7 畜産関係施設…………… 40
- 8 県内の特徴的な動き…………… 41
- 9 県基幹種雄牛…………… 43

第1章 農業の概要

1 青森県の自然

〔位置〕

本県は、本州の最北端に位置し、北は津軽海峡を隔てて北海道と相対し、東は太平洋、西は日本海に囲まれ、南は秋田・岩手両県に接している。

青森市から東京までは、国道4号では約740km、鉄道距離（東北新幹線）では約710kmで、時間距離は自動車では東北縦貫自動車道を利用すると約8時間、鉄道では最短で約3時間、飛行機では約1時間15分となっている。

〔面積〕

本県の面積は、全国8位の約9,646km²で全国の約3%を占めているが、人口密度は約128.3人/km²で全国41位となっており、1人当たりの面積が広く、豊かな自然に恵まれている。

〔地形〕

県の中央部の奥羽山脈を境として、日本海側の津軽地方では、奥羽山脈の延長にある山地と出羽山地の延長にある山地によって囲まれた広大な沖積平野である、肥沃な津軽平野が岩木川流域に広がっている。

また、奥羽山脈の北端には、青森市を中心とした青森平野が広がっている。

一方、太平洋側の県南地方では、北上山地から続く火山灰土に覆われた台地や段丘が広く分布し、下北半島の首部から十和田市・八戸市に及ぶ地域には丘陵地が形成されている。

西の津軽半島と東の下北半島はそれぞれ北に伸び、両半島の真ん中に陸奥湾が存在する。

〔気候〕

夏が短く冬が長い冷涼な気候で、四季がはっきりしている。夏季は、津軽地方は比較的気温が高く温暖な日が多いが、県南地方では春の終わりから夏にかけてヤマセ（偏東風）が吹き、低温の日が多い。

冬季は、西ないし北西の季節風が多くなり、津軽地方では雪の日が多く多雪となるが、県南地方は冷え込みが厳しいものの、晴天の日が多く雪は少ない。

青森の地質区分



資料:

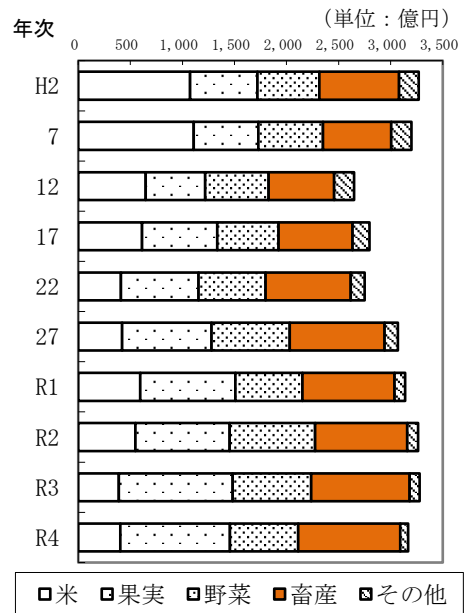
- 令和2年国勢調査人口等基本集計（総務省）
- 令和5年全国都道府県市区町村別面積調（国土地理院）
- 平成28年海岸統計（国土交通省）

2 農業産出額

年内に生産された農産物総量（自家消費分も含む）から、種子及び飼料などの中間生産物を控除した各農産物数量に、農家の販売価格（農家受取価格）を乗じて算出したものである。

(単位：億円)

年	合計	米	果実	野菜	畜産	その他
H2	3,270	1,074	647	593	766	190
7	3,200	1,109	621	619	656	195
12	2,649	647	573	608	628	193
17	2,797	613	722	589	710	163
22	2,751	410	746	643	818	134
27	3,068	422	857	751	910	128
R1	3,138	596	914	642	885	101
R2	3,262	548	906	821	883	104
R3	3,277	389	1,094	753	947	94
R4	3,168	405	1,051	657	979	76

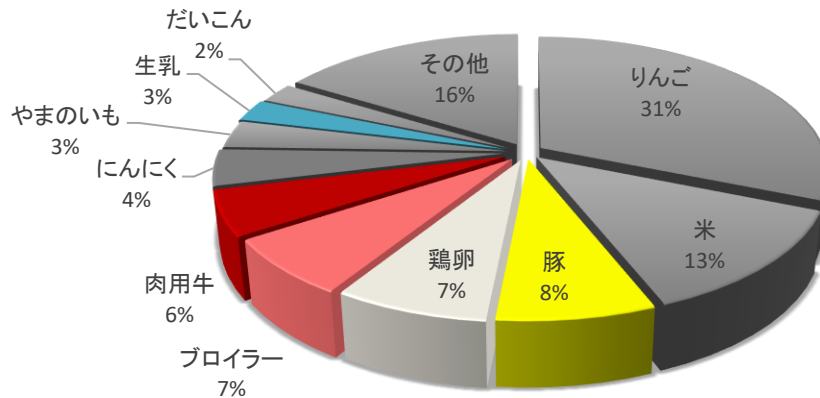


県内産出額上位10品目（令和4年）

(単位：億円)

順位	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
品目	りんご	米	豚	鶏卵	ブロイラー	肉用牛	にんにく	やまのいも	生乳	だいこん
産出額	988	405	240	234	217	171	137	104	83	76

資料：生産農業所得統計



第2章 畜産の概要

1 畜産産出額

令和4年の畜産産出額は、前年に比べて3.4%増の979億円となっており、畜種別では鶏466億円（対前年比0.4%増）、豚240億円（対前年比8.6%増）、肉用牛171億円（対前年比6.2%増）、乳用牛89億円（対前年比1.1%増）となっている。

（単位：億円）

年次	合計	乳用牛		肉用牛	豚	鶏			その他
		生乳				鶏卵	ブロイラー		
S55	586	107	80	52	186	220	174	-	24
60	623	105	85	67	194	239	156	-	19
H2	766	103	83	97	255	283	142	-	28
7	649	97	78	72	216	257	131	-	6
12	627	78	71	75	185	282	137	-	8
17	710	73	68	81	223	324	147	153	10
22	818	72	69	120	258	357	169	182	12
27	910	78	69	146	258	412	195	210	16
R1	885	91	78	162	221	399	178	204	13
R2	883	93	83	144	224	411	179	217	13
R3	947	88	78	161	221	464	223	227	13
R4	979	89	83	171	240	466	234	217	12

※平成12年以前は、ブロイラーの産出額の調査は行っていない。

資料：生産農業所得統計

2 主要家畜の頭羽数

(1) 飼養戸数、頭羽数（乳用牛・肉用牛：令和5年2月1日現在）

（単位：戸、頭、千羽）

乳用牛				肉用牛			豚		採卵鶏		ブロイラー		
飼養戸数	飼養頭数			飼養戸数	飼養頭数		飼養戸数	飼養頭数	飼養戸数	飼養羽数 成鶏めす	飼養戸数	飼養羽数	
	合計	2歳以上	2歳未満		合計	肉用種							乳用種
147	12,400	9,410	3,030	726	57,100	32,100	25,100	52	356,300	23	5,393	60	6,905

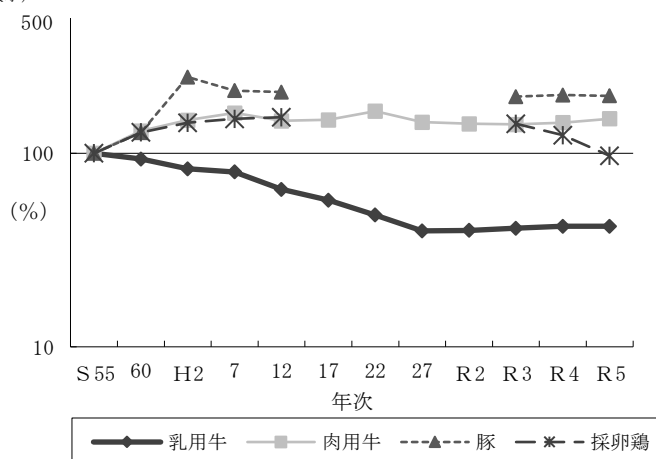
資料：畜産統計

(2) 家畜飼養頭羽数の対昭和55年比の推移

現在の家畜飼養頭羽数を昭和55年と比較すると、豚（198%）、肉用牛（151%）は伸びており、乳用牛（42%）は減少し、採卵鶏（97%）は横ばいとなっている。

（単位：%）（対数表示）

年次	乳用牛	肉用牛	豚	採卵鶏
S55	100	100	100	100
60	93	130	128	128
H2	83	148	248	144
7	80	161	211	151
12	65	147	207	154
17	57	149	#VALUE!	#VALUE!
22	48	165		
27	40	145		
R2	40	142		
R3	41	141	196	142
R4	42	144	200	124
R5	42	151	198	97



資料：畜産統計・食鳥流通統計

※平成17年、22年、27年、令和2年は農業センサス実施年のため豚及び採卵鶏の調査データなし

第3章 家畜飼養動向

1 乳用牛



(1) 飼養戸数及び飼養頭数

飼養戸数は年々減少し、令和5年は前年より9戸減の147戸となった。
飼養頭数は12,400頭で、前年に比べて微増している。

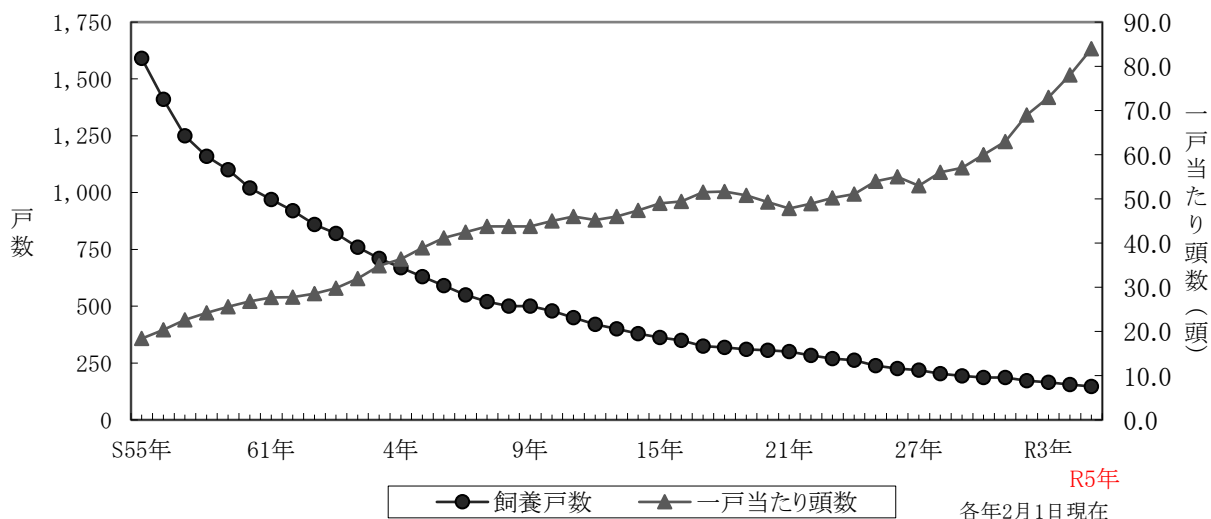
(単位:戸、頭)

区分	飼養戸数	飼養頭数(めす)							一戸当たり頭数	
		合計	2歳以上					2歳未満		
			計	経産牛			未經産牛			
				小計	搾乳牛	乾乳牛				
青森県	S55.2.1	1,590	29,200	21,100	18,300	14,820	3,480	2,810	8,090	18
	60.2.1	1,020	27,300	19,510	17,200	14,000	3,200	2,310	7,820	27
	H2.2.1	760	24,300	16,300	15,200	12,900	2,250	1,120	8,040	32
	7.2.1	550	23,400	16,200	14,700	12,600	2,060	1,490	7,210	43
	12.2.1	420	19,000	13,900	12,700	11,000	1,700	1,200	5,170	45
	17.2.1	324	16,700	11,500	10,500	8,970	1,540	940	5,250	52
	22.2.1	284	13,900	9,920	9,690	8,390	1,300	230	3,940	49
	27.2.1	219	11,600	8,120	7,880	6,930	950	230	3,520	53
30.2.1	青森	187	11,300	8,270	8,050	7,000	1,050	230	3,040	60
	全国	15,700	1,328,000	906,900	847,200	731,100	116,100	59,700	421,100	85
31.2.1	青森	186	11,700	8,520	8,290	7,210	1,080	240	3,170	63
	全国	15,000	1,332,000	900,500	839,200	729,500	109,700	61,300	431,100	89
R2.2.1	青森	172	11,800	9,180	8,540	7,280	1,270	630	2,650	69
	全国	14,400	1,352,000	900,300	838,900	715,400	123,500	61,400	452,000	94
R3.2.1	青森	165(20)	12,000(17)	9,300	8,680	7,460	1,220	620	2,670	73(17)
	全国	13,900	1,356,000	910,000	849,300	726,000	123,300	60,700	446,400	98
R4.2.1	青森	156(19)	12,200(17)	9,500	8,830	7,570	1,250	670	2,680	78(17)
	全国	13,300	1,371,000	924,000	861,700	736,500	125,200	62,300	447,200	103
R5.2.1	青森	147(19)	12400(16)	9,410	8,830	7,580	1,250	570	3,030	84(13)
	全国	12,600	1,356,000	896,400	836,600	714,500	122,100	59,800	459,300	108

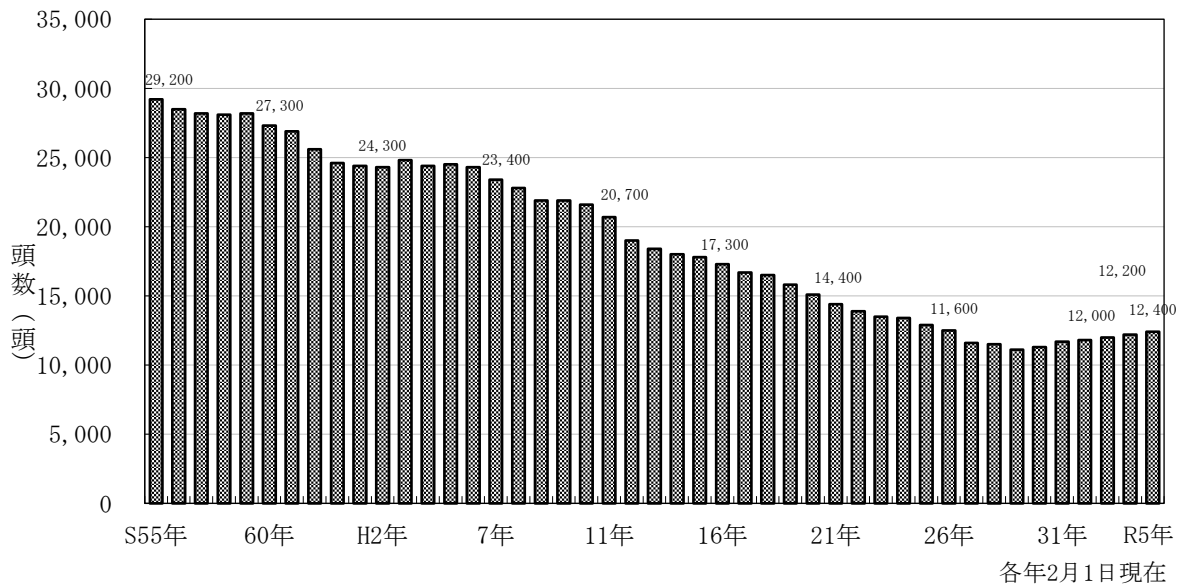
※()は全国順位。数値未公表の都道府県を除いたもの。

資料：畜産統計

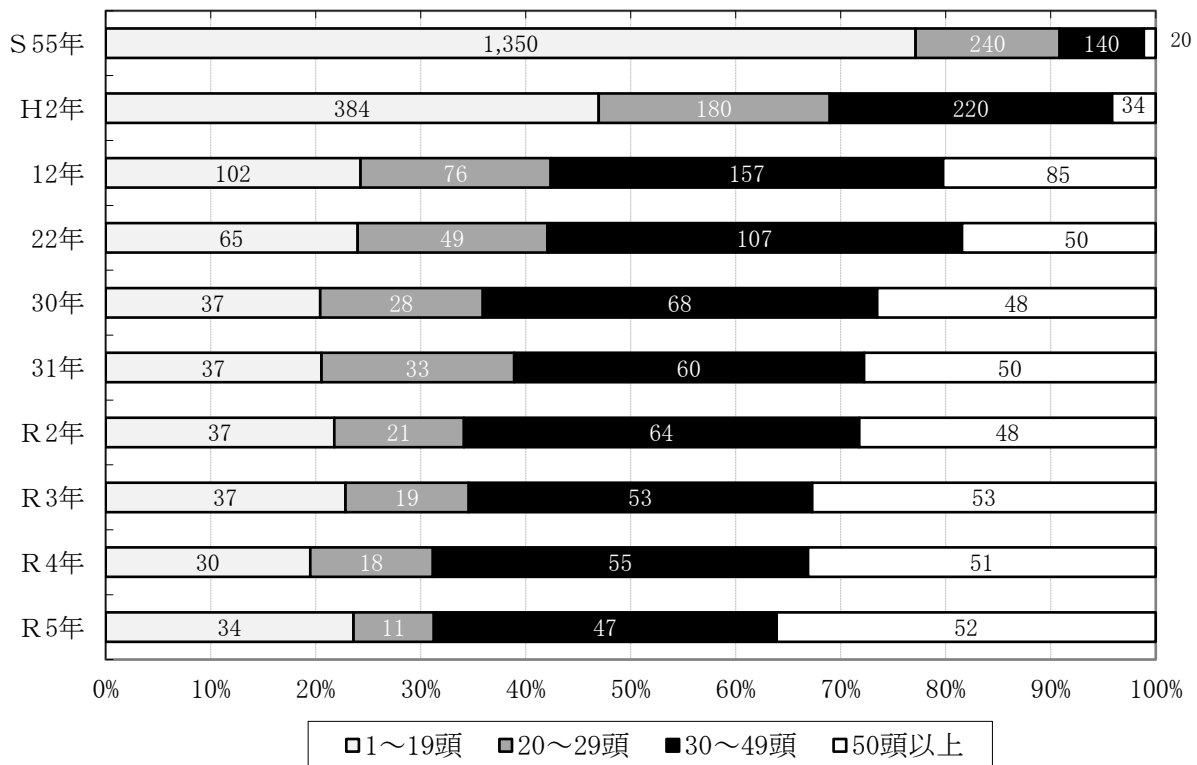
①飼養戸数及び一戸当たりの飼養頭数の推移



②飼養頭数の推移



(2) 頭数規模別飼養戸数とその割合 (成畜)



資料：畜産統計

2 肉用牛



(1) 飼養戸数及び飼養頭数

令和5年の飼養戸数は前年より37戸減少し、726戸となった。飼養頭数は57,100頭で、前年に比べて4.6%増となったが、肉用種繁殖めすは、前年に比べ20.6%減の10,800頭となった。

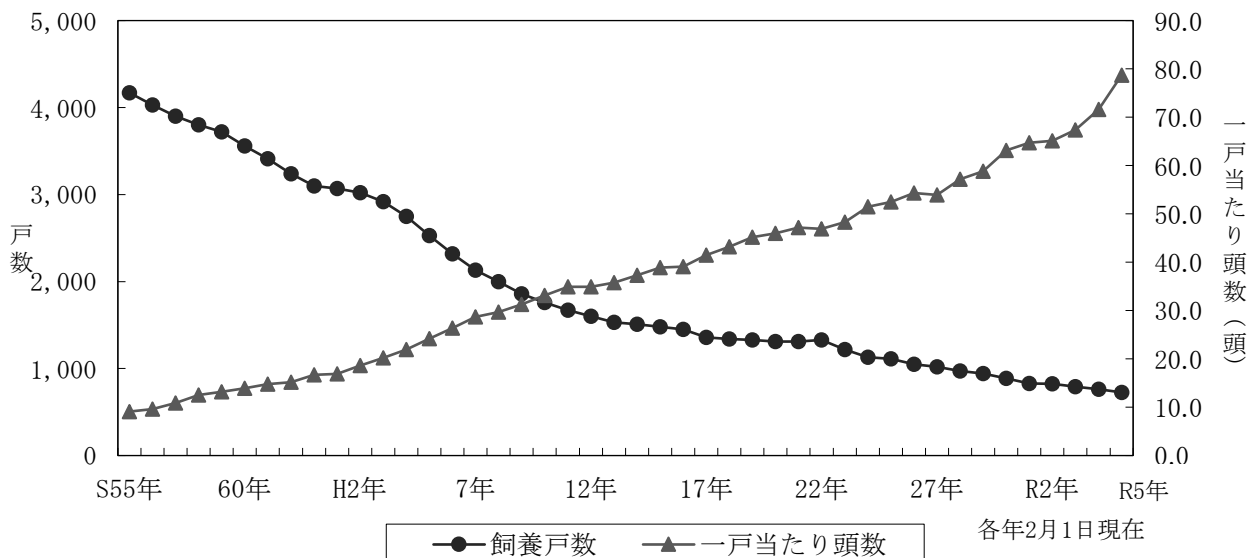
(単位:戸、頭)

区 分	飼養戸数	飼 養 頭 数					一 戸 当 たり 頭 数	
		計	肉用種めす		肉用種おす	乳用種		
			うち繁殖めす					
青森県	S55.2.1	4,170	37,910	4,930		8,740	10,430	9
	60.2.1	3,560	49,400	5,800		9,460	19,500	14
	H 2.2.1	3,020	56,200	17,600		8,520	30,100	19
	7.2.1	2,130	61,200	17,800		13,700	29,600	29
	12.2.1	1,600	55,800	16,700	10,900	9,700	29,400	35
	17.2.1	1,360	56,500	16,200	10,400	9,110	31,200	42
	22.2.1	1,330	62,400	19,500	14,200	9,250	33,600	47
	27.2.1	1,020	55,000	17,300	12,000	7,320	30,500	54
31.2.1	青森	827	53,500	19,000	12,500	9,010	25,400	65
	全国	46,300	2,503,000	1,114,000	625,900	620,300	769,600	54
R2.2.1	青森	824	53,700	19,300	12,900	9,620	24,700	65
	全国	43,900	2,555,000	1,138,000	622,000	654,200	763,400	58
R3.2.1	青森	792(14)	53,400(12)	19,500	13,200	10,400	23,500	67(24)
	全国	42,100	2,604,000	1,162,000	632,800	667,200	775,200	62
R4.2.1	青森	763(13)	54,600(12)	20,000	13,600	10,900	23,800	72(25)
	全国	40,400	2,614,000	1,158,000	636,800	653,600	802,200	65
R5.2.1	青森	726(13)	57,100(12)	20,500	10,800	11,600	25,100	79(24)
	全国	38,600	2,687,000	1,195,000	577,500	686,800	804,400	70

※ () は全国順位。数値未公表の都道府県を除いたもの。

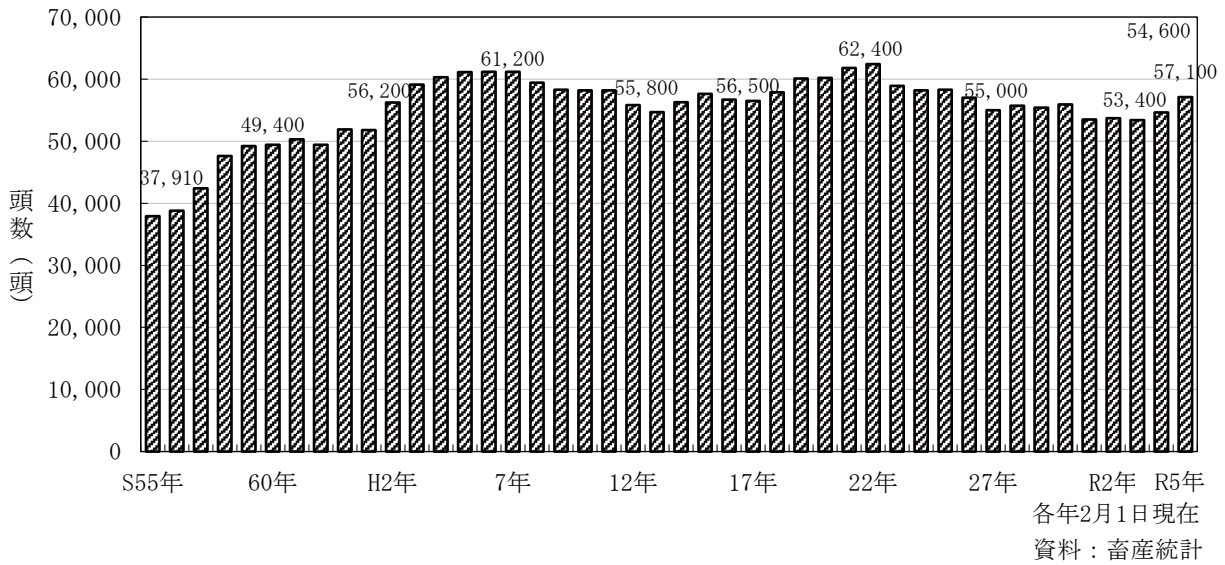
資料：畜産統計

①飼養戸数及び一戸当たりの飼養頭数の推移

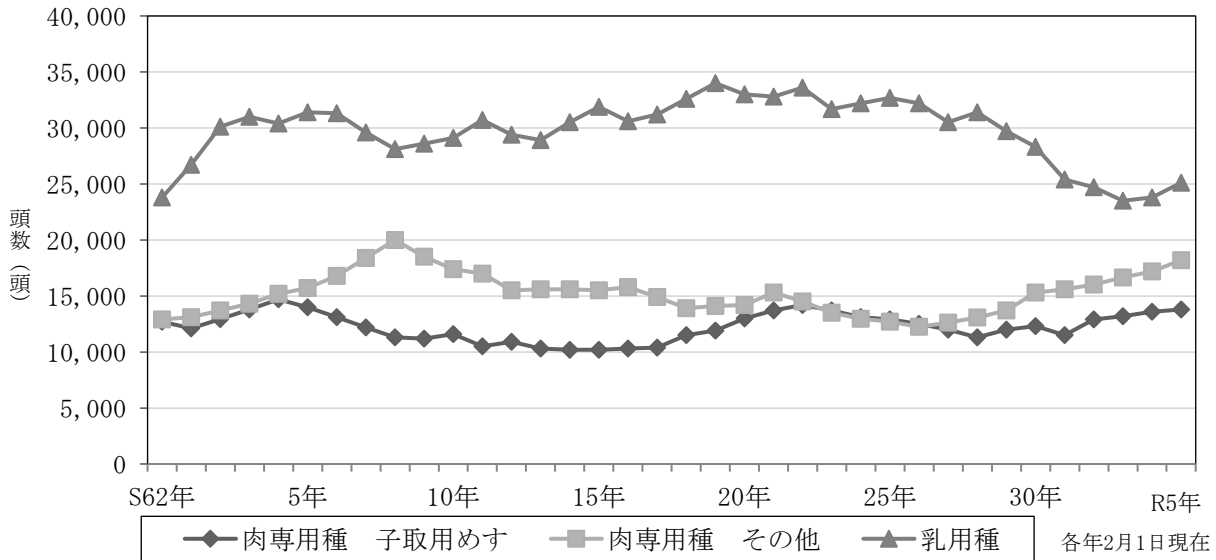


資料：畜産統計

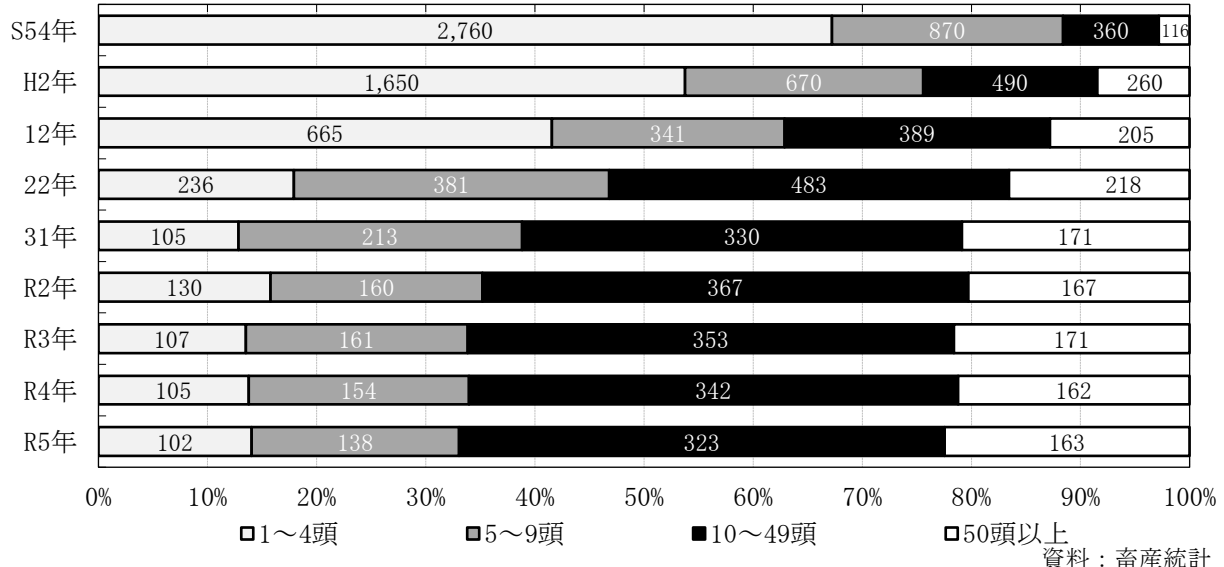
②飼養頭数の推移



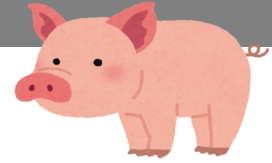
③品種別飼養頭数の推移



(2) 頭数規模別飼養戸数とその割合 (成畜)



3 豚



(1) 飼養戸数及び飼養頭数

飼養戸数は減少が続いており、令和5年は前年より8戸減少し52戸となった。飼養頭数は、前年に比べほぼ横ばいの356,300頭となった。

また、一戸当たりの飼養頭数は年々増加傾向で推移し6,852頭で、全国2位となっている。

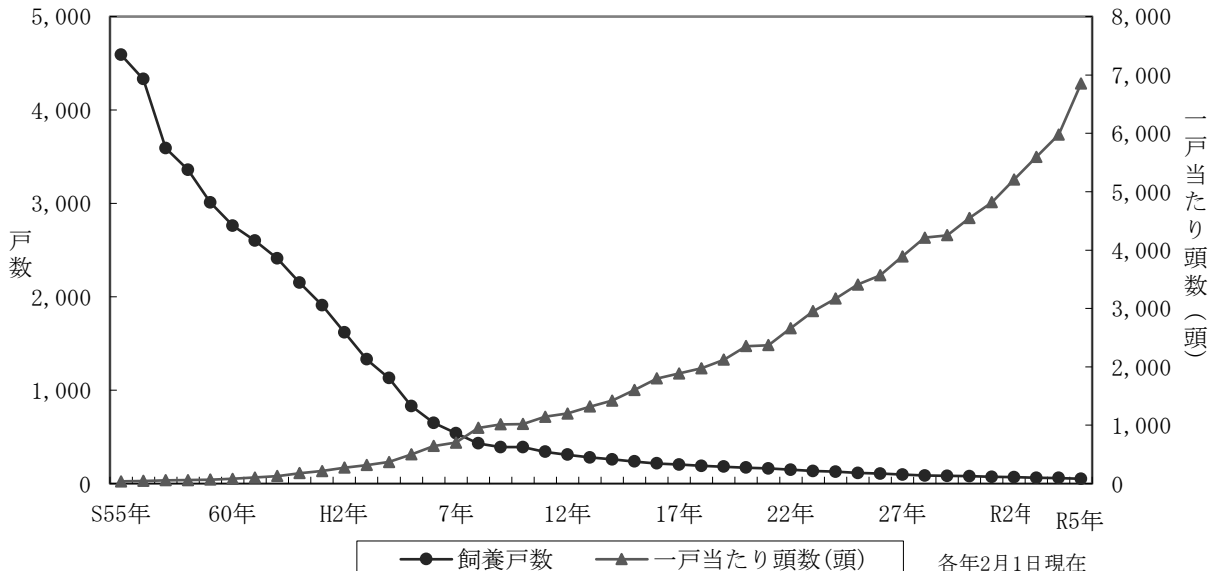
(単位:戸、頭)

区 分	飼 養 戸 数		飼 養 頭 数		一戸当たり 頭数	
		子取り用めす豚		子取り用めす豚		
青森県	S55.2.1	4,590	3,610	179,610	23,760	39
	60.2.1	2,760	2,540	229,600	29,800	83
	H 2.2.1	1,620	1,240	445,100	43,500	275
	7.2.1	540	480	378,700	39,600	701
	12.2.1	310	290	372,000	36,200	1,200
	16.2.1	216	190	389,300	35,600	1,802
	21.2.1	163	142	386,600	34,000	2,372
30.2.1	青森	79	55	359,500	31,500	4,551
	全国	4,470	3,640	9,189,000	823,700	2,056
31.2.1	青森	73	54	351,800	32,900	4,819
	全国	4,320	3,460	9,156,000	853,100	2,119
R3.2.1	青森	63(20)	46	352,700(9)	29,100	5,598(3)
	全国	3,850	3,040	9,290,000	823,200	2,413
R4.2.1	青森	60(20)	41	358,600(8)	28,500	5,977(2)
	全国	3,590	2,750	8,949,000	789,100	2,493
R5.2.1	青森	52(20)	37	356,300(8)	29,500	6,852(2)
	全国	3,370	2,640	8,956,000	791,800	2,658

※平成17年、22年、27年、令和2年は農業センサス実施年のため調査を中止している。資料：畜産統計

※ () は全国順位。数値未公表の都道府県を除いたもの。

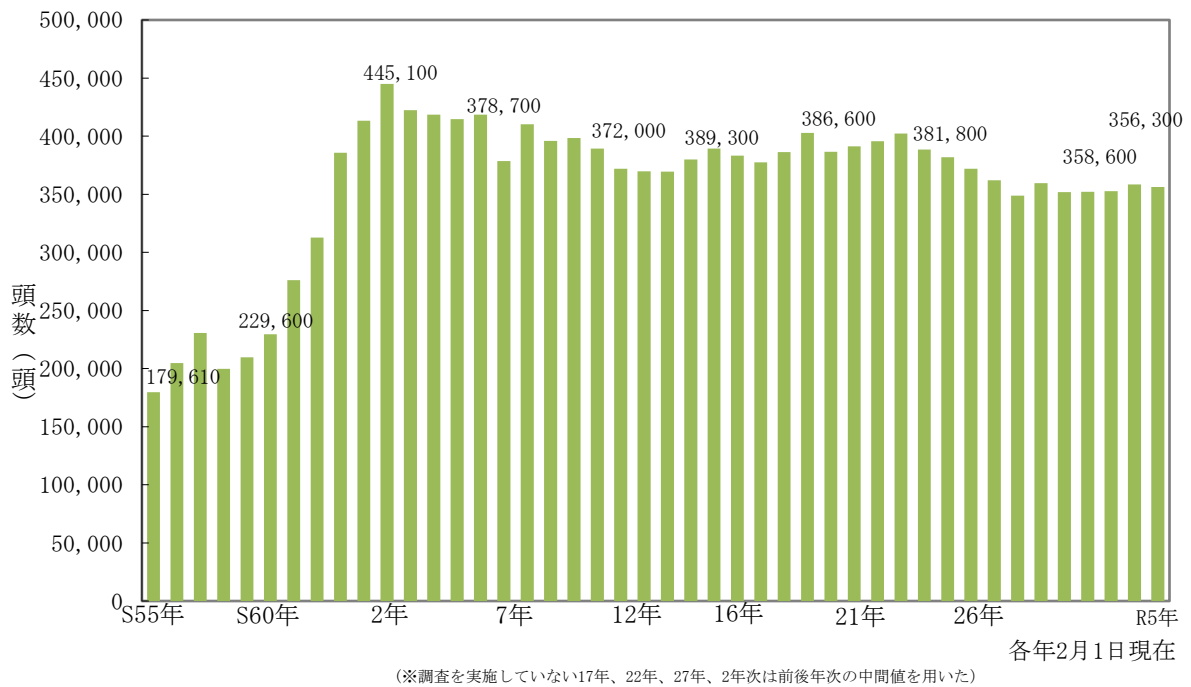
①飼養戸数及び一戸当たりの飼養頭数の推移



(※ 調査を実施していない17年、22年、27年、2年次は前後年の中間値を用いた)

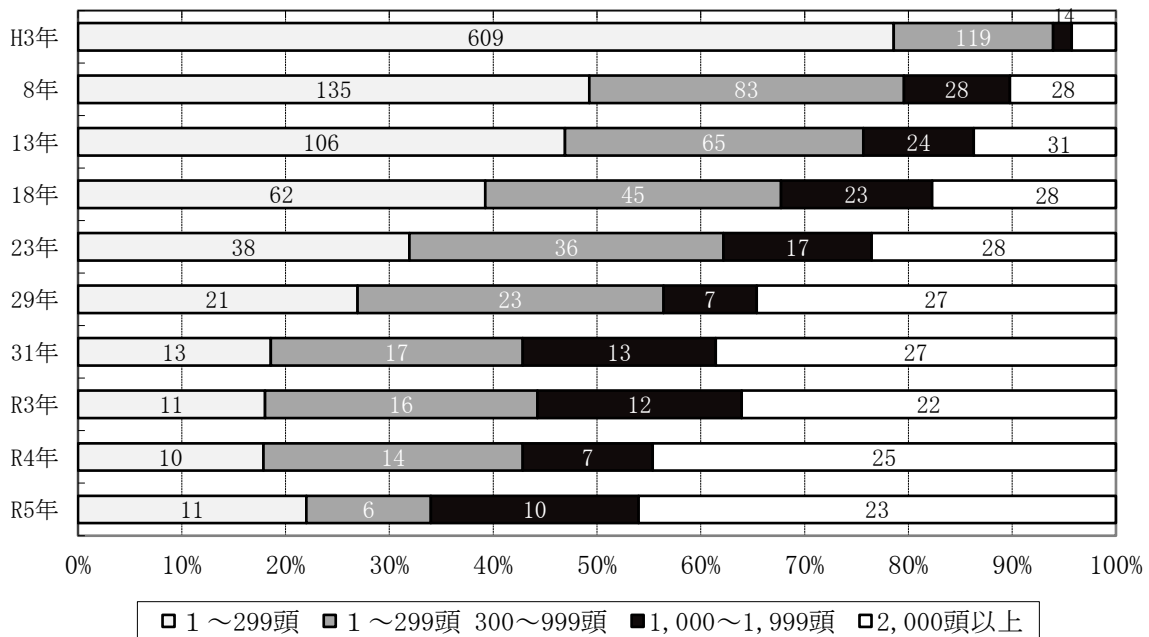
資料：畜産統計

②飼養頭数の推移



資料：畜産統計

(2) 頭数規模別飼養戸数とその割合 (肥育豚)



資料：畜産統計

4 採卵鶏



(1) 飼養戸数及び飼養羽数

飼養戸数は、ここ数年横ばいで推移していたが、令和5年は2戸減少し23戸であった。飼養羽数は、前年に比べて17.0%減の5,393千羽となった。また、一戸当たりの飼養羽数は、全国平均の約2.1倍にあたる158千羽で全国2位の規模となっている。

(単位:戸、千羽)

区分	飼養戸数	飼養羽数 (採卵鶏)			一戸あたり 成鶏めす羽数	
		計	成鶏めす	ひな		
R4. 2. 1	青森	25 (27)	6,497 (9)	4,650	1,847	186 (1)
	全国	1,880	180,096	137,291	42,805	76
R5. 2. 1	青森	23 (29)	5,393 (15)	3,635	1,758	158 (2)
	全国	1,760	169,810	128,579	41,231	76

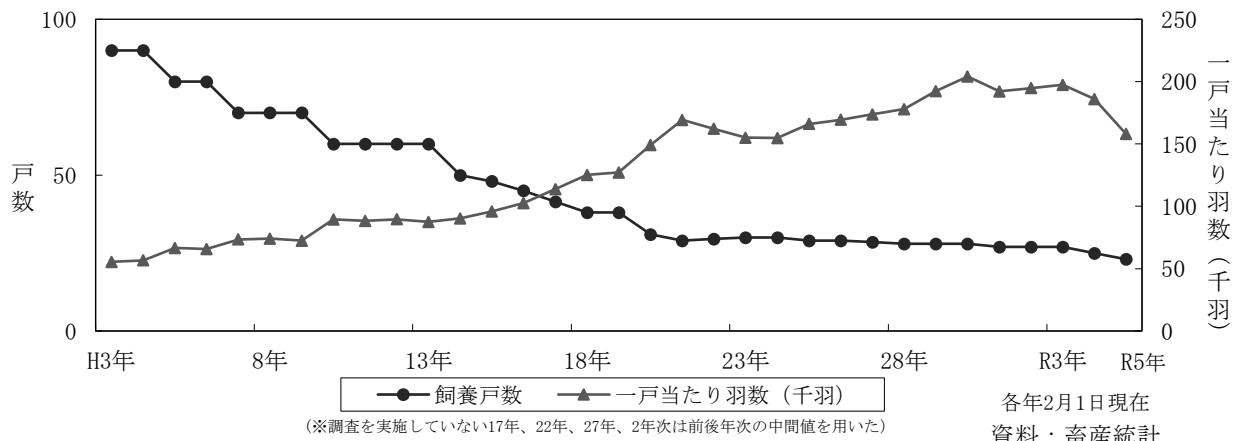
※平成17年、22年、27年、令和2年は農業センサス実施年のため調査を中止している。

資料：畜産統計

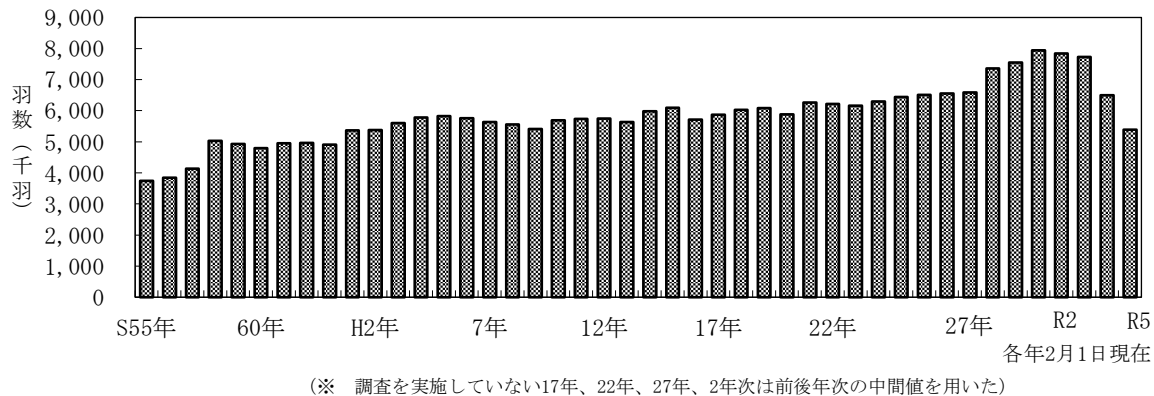
※飼養対象は、平成2年まで成鶏300羽未満を含み、平成3年から成鶏300羽以上、平成10年から成鶏1,000羽以上。

※()は全国順位。数値未公表の都道府県を除いたもの。

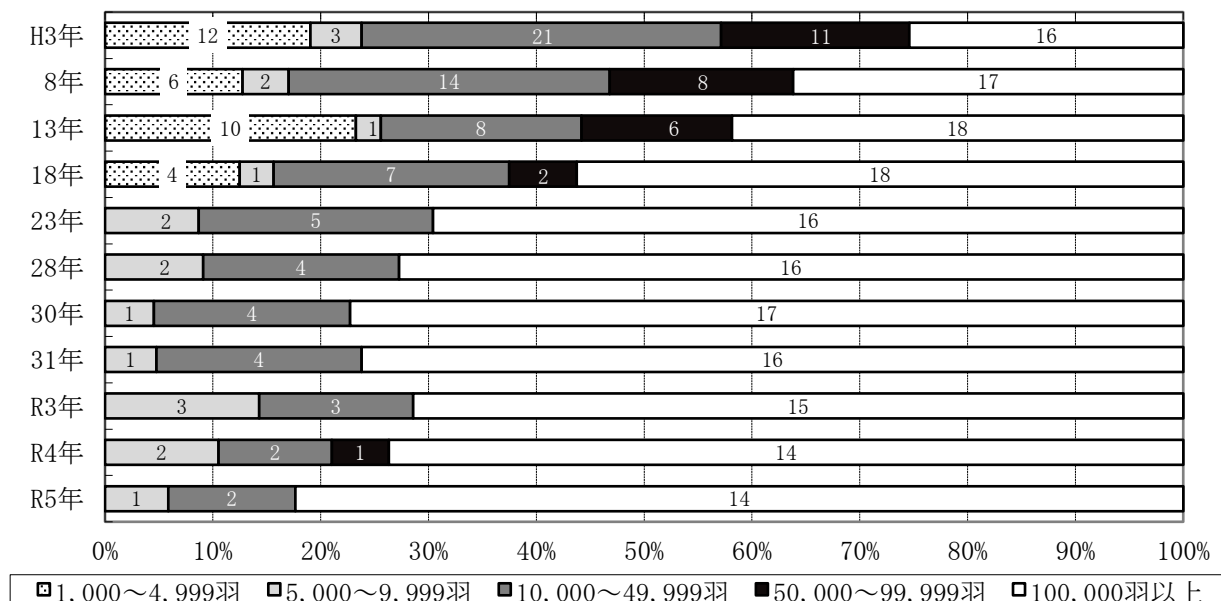
①飼養戸数及び一戸当たりの飼養羽数の推移



②飼養羽数の推移



(2) 羽数規模別飼養戸数とその割合（成鶏めす）



※令和4年から1,000~4,999羽と5,000~9,999羽が1,000~9,999羽に一本化された。

資料：畜産統計

5 ブロイラー



(1) 飼養戸数及び飼養羽数

令和5年の飼養戸数は60戸、飼養羽数は前年に比べて14.3%減の6,905千羽となった。一戸当たりの飼養羽数は全国平均の約1.7倍にあたる115.1千羽で全国4位の規模となっている。

単位：戸、千羽

区分	S55年	60年	H2年	7年	12年	17年	21年	26年	31年	R4年	R5年	
青森県	飼養戸数	39	43	46	46	48	53	58	66	64	63 (6)	60 (7)
	飼養羽数	1,056	2,119	3,777	4,295	4,517	5,060	6,105	6,844	6,943	8,058 (4)	6,905 (4)
	一戸当たり 羽数	27.1	49.3	82.1	93.4	94.1	95.5	105.3	103.7	108.5	127.9 (5)	115.1 (5)
全国	飼養戸数	—	7,025	5,529	3,853	3,084	2,654	2,392	2,380	2,250	2,100	2,100
	飼養羽数	—	150,215	150,445	119,682	108,786	102,520	107,141	135,747	138,228	139,230	141,463
	一戸当たり 羽数	—	21.4	27.2	31.1	35.3	38.6	44.8	57.0	61.4	66.3	67.4

※平成21年までは、食鳥流通統計として調査。

※平成25年からは、畜産統計として調査。年間出荷羽数3,000羽未満の飼養者を除く。

※ () は全国順位。数値未公表の都道府県を除いたもの。

※平成22年、27年、令和2年は農業センサス実施年のため調査を中止している。

6 その他



(1) 馬

①軽種馬

(単位:戸、頭)

区 分	S55年	60年	H2年	7年	12年	17年	22年	27年	R2年	R4年	R5年
飼養戸数	272	199	165	146	102	73	53	46	36	33	30
飼養頭数	2,212	2,155	1,872	1,740	1,006	830	438	300	290	282	251

各年2月1日現在
資料：県畜産課調査

②軽種馬以外

(単位:戸、頭)

区 分	S55年	60年	H2年	7年	12年	17年	22年	27年	R2年	R4年	R5年
飼養戸数	359	435	280	320	277	228	136	118	116	105	99
飼養頭数	683	1,108	881	1,751	1,522	1,580	1,436	1,540	1,845	1,573	1,446

各年2月1日現在
資料：県畜産課調査

(2) めん羊

※平成24年から調査方法が変更となっている

(単位:頭)

区 分	S55年	60年	H2年	6年	12年	17年	22年	27年	R2年	R4年	R5年
飼養頭数	463	1,530	610	430	165	132	65	150	177	267	321

各年2月1日現在
資料：県畜産課調査 (H6年以前は畜産統計)

(3) 山羊

(単位:頭)

区 分	S55年	60年	H2年	6年	12年	17年	22年	27年	R2年	R4年	R5年
飼養頭数	391	180	110	80	85	73	89	140	106	99	77

各年2月1日現在
資料：県畜産課調査 (H6年以前は畜産統計)

(4) 蜜蜂

(単位:戸、群)

区 分	S55年	60年	H2年	7年	12年	17年	22年	27年	R2年	R4年	R5年
飼育戸数	169	160	118	96	92	75	76	103	123	124	117
飼育群数	7,779	7,610	5,553	5,160	5,630	6,065	5,677	5,960	6,057	5,578	4,396

各年1月1日現在
資料：県畜産課調査

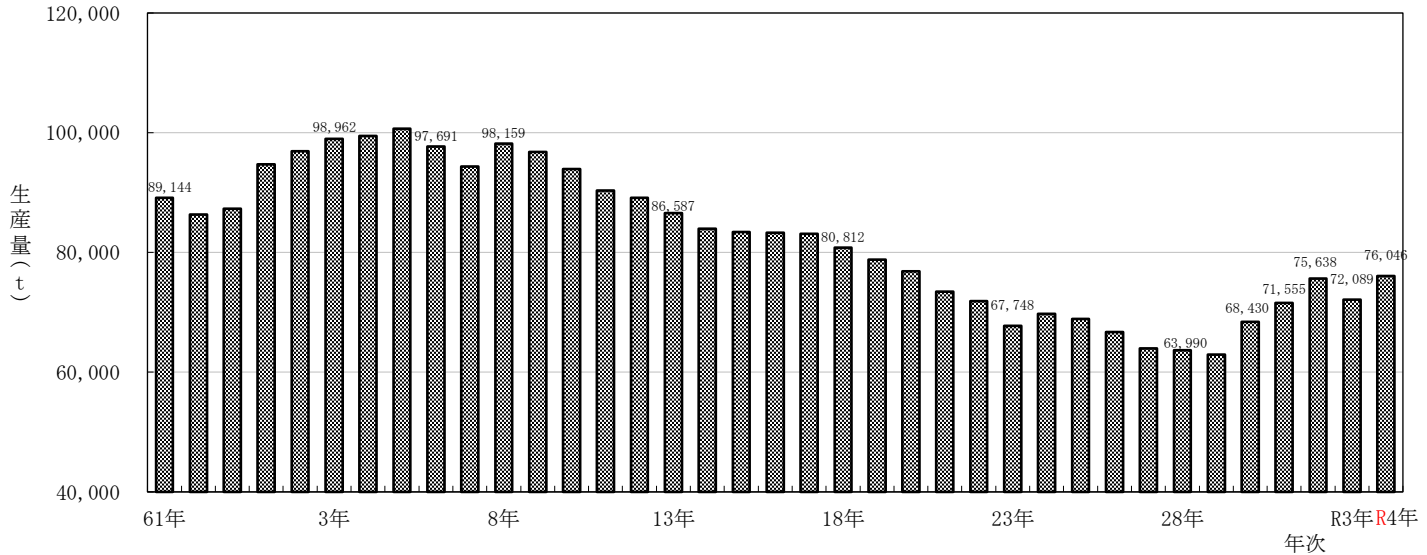
第4章 畜産物の流通と価格

1 牛 乳



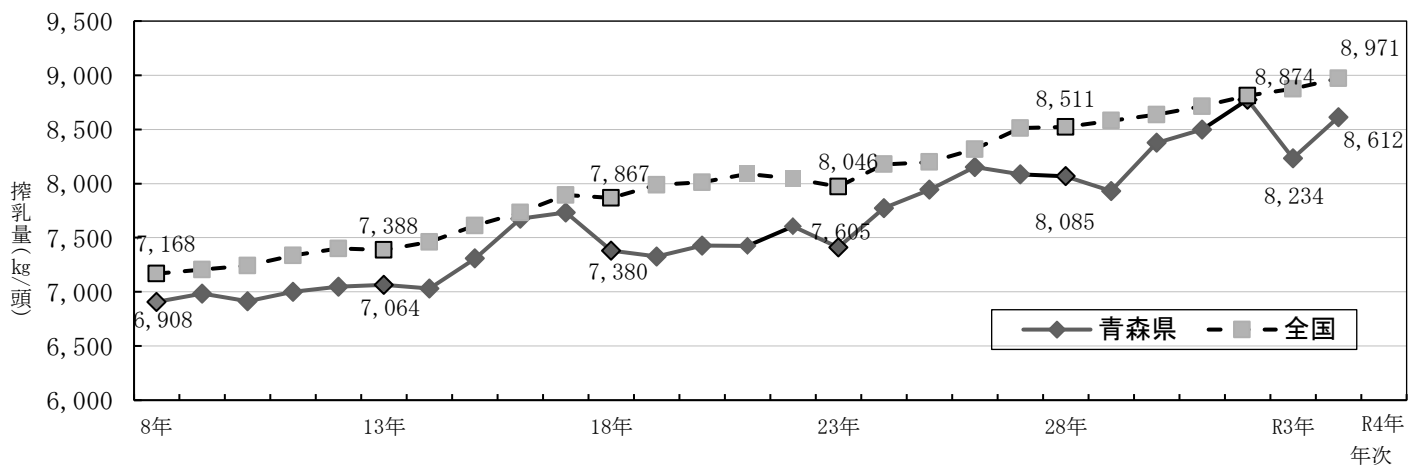
(1) 生乳生産量

令和4年の生乳生産量は76,046tで、前年に比べて3,957t（5.5%）増加している。



(2) 経産牛1頭当たり年間搾乳量

令和4年の経産牛1頭当たりの年間搾乳量は、8,612kg/頭となっている。



(3) 生乳の価格

令和3年度のプール乳価は107.36円/kgで、前年度より約1円低くなっている。

(単位：円/kg)

区分	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度
プール乳価 (補給金含む)	95.79	96.73	96.41	97.89	100.65	103.85	104.15	104.67	104.84	108.18	108.37	107.36

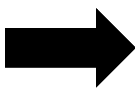
資料：東北生乳販売農業協同組合連合会事業概況

(4) 生乳の流通経路 (令和4年次)



生乳生産量
76,046 t

県外処理
64,017 t
(84.2%)



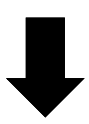
(単位: t、%)

内訳	数量	割合
宮城県	22,545	35.2
茨城県	15,779	24.6
岩手県	14,873	23.2
その他	10,820	16.9
計	64,017	

資料: 牛乳乳製品統計



県内処理
12,029 t
(15.8%)



生乳処理量
12,029 t

飲用牛乳等向け	乳製品向け	その他向け
10,707t (89.0%)	511t (4.2%)	811t (6.7%)

※その他向け: 自家消費、子牛ほ乳用、輸送・製造行程の減耗等を含む。

生産量		
牛乳	うち学乳向け	はっ酵乳・アイス クリーム・チーズ
11,009k1	2,639k1	526k1

※平成28年から牛乳乳製品統計の公表方法が変更となり、県内処理の内訳が非表示となったため、県内乳業工場からの報告データを使用



牛乳
11,009k1
(53.9%)



飲用牛乳等移入量
9,422 k1
(46.1%)

(単位: k1、%)

内訳	数量	割合
北海道	3,420	36.3
岩手県	4,891	51.9
千葉県	15	0.2
その他	1,096	11.6
計	9,422	

資料: 牛乳乳製品統計、県畜産課調査

飲用牛乳等
県内推定出回り量
20,431k1



2 肉用牛

(1) 子牛の取引頭数

令和4年の本県の子牛取引頭数は、前年より2.4%減の10,093頭となっている。

(単位：頭)

区分	S55年	60年	H2年	7年	12年	17年	22年	27年	R2年	R3年	R4年
初生子牛	肉専用種	7,127	8,033	8,535	6,657	7,360	5,856	7,268	6,059	6,407	6,637
	F1・乳用種	935	3,811	3,668	9,507	8,220	8,603	6,965	5,468	4,009	3,456
	計	8,062	11,844	12,203	16,164	15,580	14,459	14,233	11,527	10,416	10,093

資料：全国肉用牛振興基金協会調査

(2) 子牛の価格

令和4年の県内市場における子牛価格は、黒毛和種は655千円（対前年比10.0%減）、日本短角種は240千円（対前年比2.8%減）となっている。

(単位：千円(税込))

区分	S55年		60年		H2年		7年	12年	17年	22年	27年	R2年	R3年	R4年		
	春	秋	春	秋	春	秋	1~12月	1~12月	1~12月	1~12月	1~12月	1~12月	1~12月	1~12月		
品種別	黒毛和種		285	305	157	206	355	318	279	355	470	387	639	656	728	655
	日本短角種		272	277	177	205	273	187	127	107	209	164	314	253	247	240
子牛平均価格		267	284	161	205	330	260	241	337	462	385	635	654	727	655	

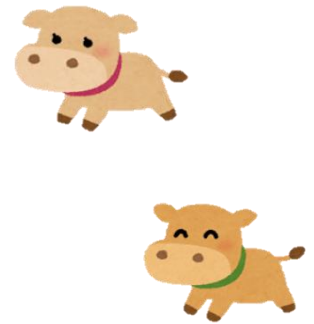
資料：農畜産業振興機構肉用子牛取引情報

(3) 肉用子牛取引状況

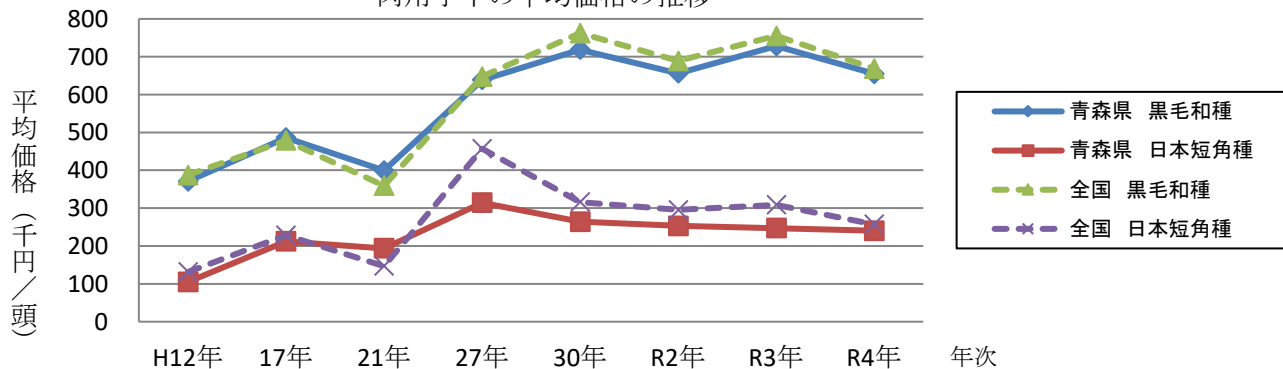
(単位：頭、kg、円、円/kg(税込))

区分	青森県				全国				
	取引頭数	平均体重	平均価格	kg当たり単価	取引頭数	平均体重	平均価格	kg当たり単価	
黒毛和種	平成12年	4,713	276	370,760	1,342	355,594	279	387,108	1,385
	平成17年	5,593	285	486,143	1,703	361,864	273	478,716	1,755
	平成21年	6,660	292	399,455	1,368	387,893	278	359,210	1,292
	平成27年	4,995	293	638,559	2,176	326,300	278	647,489	2,332
	平成30年	4,920	296	718,610	2,424	312,477	284	762,527	2,683
	令和2年	6,163	313	656,130	2,093	342,798	295	688,976	2,332
	令和3年	6,328	314	728,212	2,318	348,530	295	755,156	2,561
	令和4年	6,412	317	654,755	2,067	360,813	296	668,528	2,259
日本短角種	平成12年	155	270	104,959	389	1,761	236	131,079	556
	平成17年	88	277	212,350	768	1,218	242	228,122	942
	平成21年	62	276	193,691	702	1,177	242	147,024	607
	平成27年	58	248	314,019	1,267	963	239	456,982	1,915
	平成30年	21	300	263,982	879	882	239	315,928	1,323
	令和3年	26	280	253,000	904	793	242	295,502	1,219
	令和3年	11	277	246,900	893	723	241	308,806	1,282
	令和4年	2	323	240,350	745	728	243	257,191	1,060

資料：農畜産業振興機構肉用子牛取引情報



肉用子牛の平均価格の推移

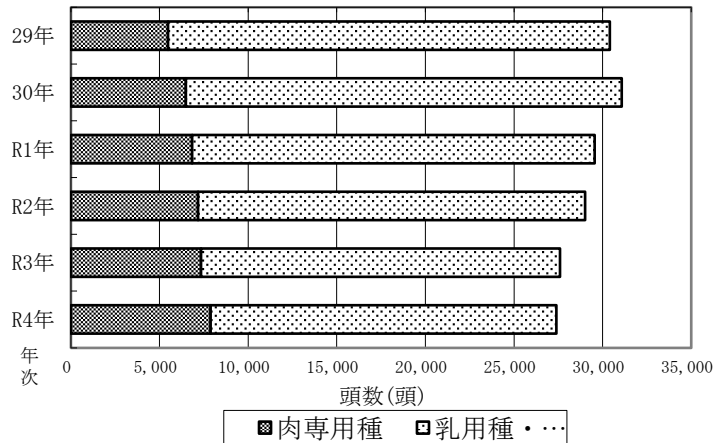


(3) 肉用牛（成牛）の出荷頭数

令和4年の出荷頭数は、前年の0.8%減の27,383頭で、種類別内訳は、乳用種及びその他71%、肉専用種29%となっている。

(単位：頭)

	肉専用種	乳用種・その他	合計
29年	5,481	24,919	29,352
30年	6,481	24,605	30,400
R1年	6,847	22,705	29,552
R2年	7,175	21,834	29,009
R3年	7,335	20,262	27,597
R4年	7,873	19,510	27,383



資料：畜産物流通統計

(4) 肉用牛の流通（令和4年次）



県外処理
11,334頭
(41.4%)

(単位：頭、%)

内訳	頭数	割合
東京都	3,304	29.2
茨城県	2,816	24.8
岩手県	2,099	18.5
その他	3,115	27.5
計	11,334	

県内処理
16,049頭
(58.6%)

(73.1%)

県内と畜頭数
22,668頭

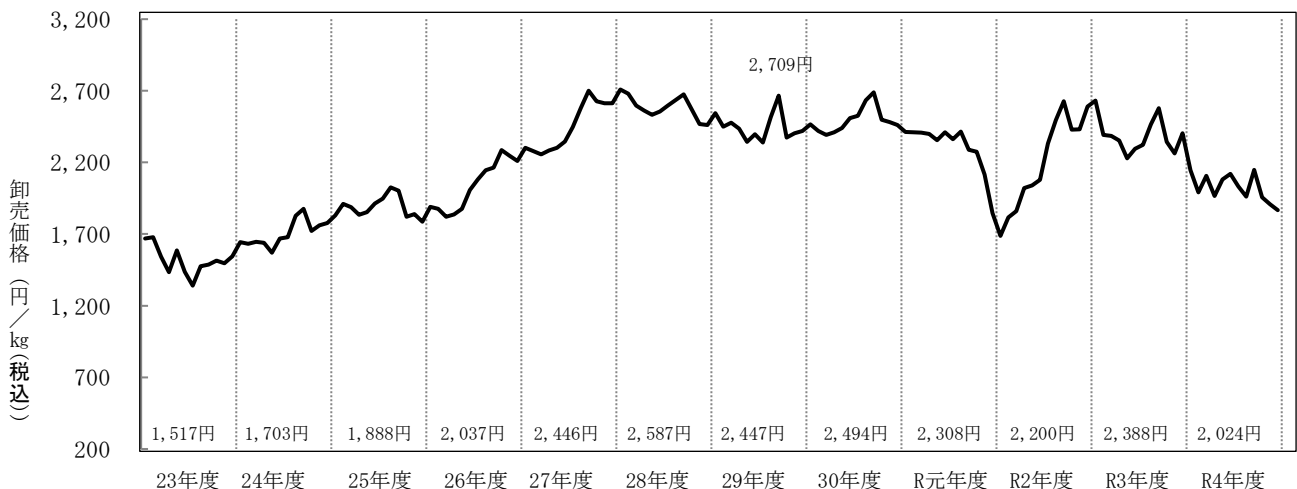
県外からの
生体移入
6,619頭
(29.2%)

(単位：頭、%)

内訳	頭数	割合
岩手県	3,155	47.7
北海道	2,741	41.4
宮城県	345	5.2
福島県	280	4.2
その他	98	1.5
計	6,619	

資料：畜産物流通統計

(5) 牛枝肉の卸売価格の推移（東京市場「和牛去勢A4」）

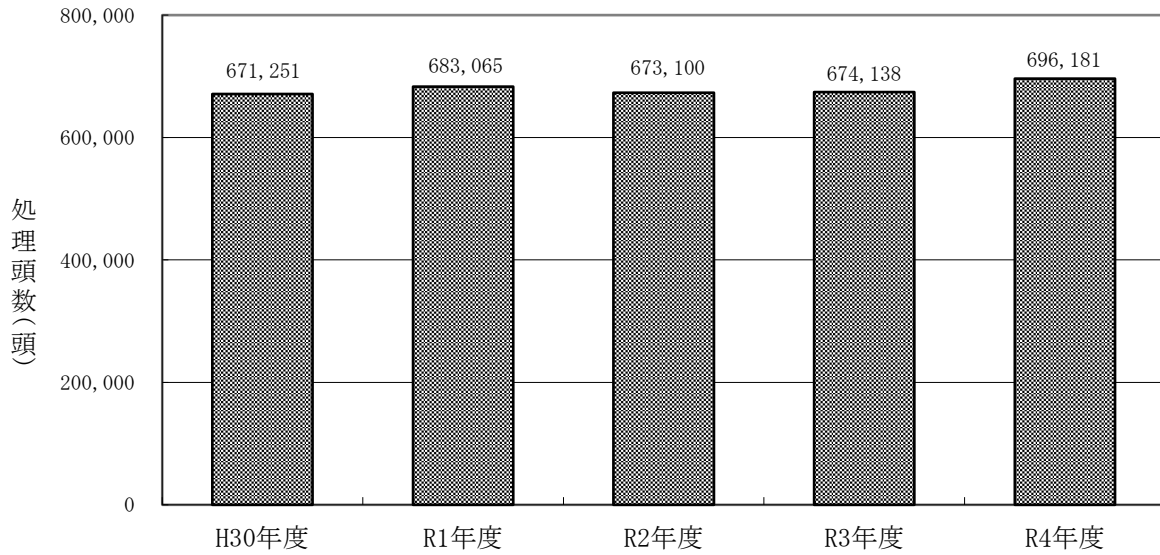


資料：農林水産省食肉流通統計、食肉市況情報

3 豚

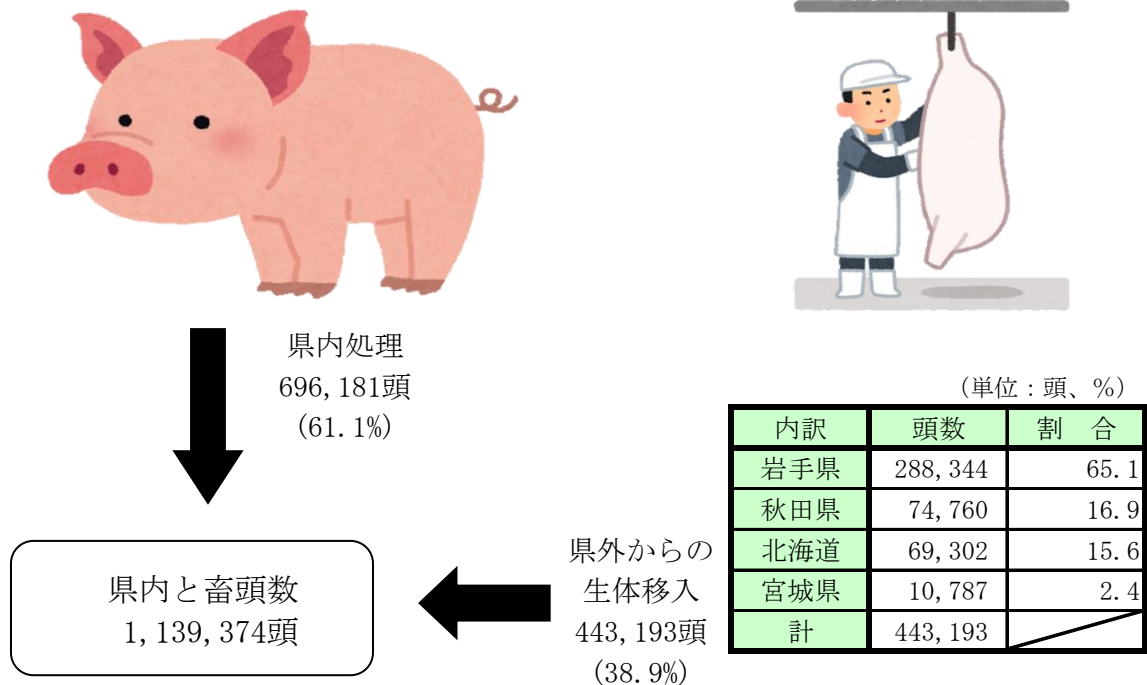
(1) 肉豚の県内処理頭数

令和4年度の肉豚の県内処理頭数は、前年に比べて3.3%増の696,181頭となっている。



資料：県食肉衛生検査所調査

(2) 肉豚の流通（令和4年度）



資料：県食肉衛生検査所調査

(3) 子豚の価格

(単位：円/頭)

区分	S55年	60年	H2年	7年	12年	17年	22年	27年	R2	R3	R4
価格	25,957	25,606	22,186	18,846	14,606	19,075	15,974	19,864	19,274	15,497	17,262

資料：県畜産課調査

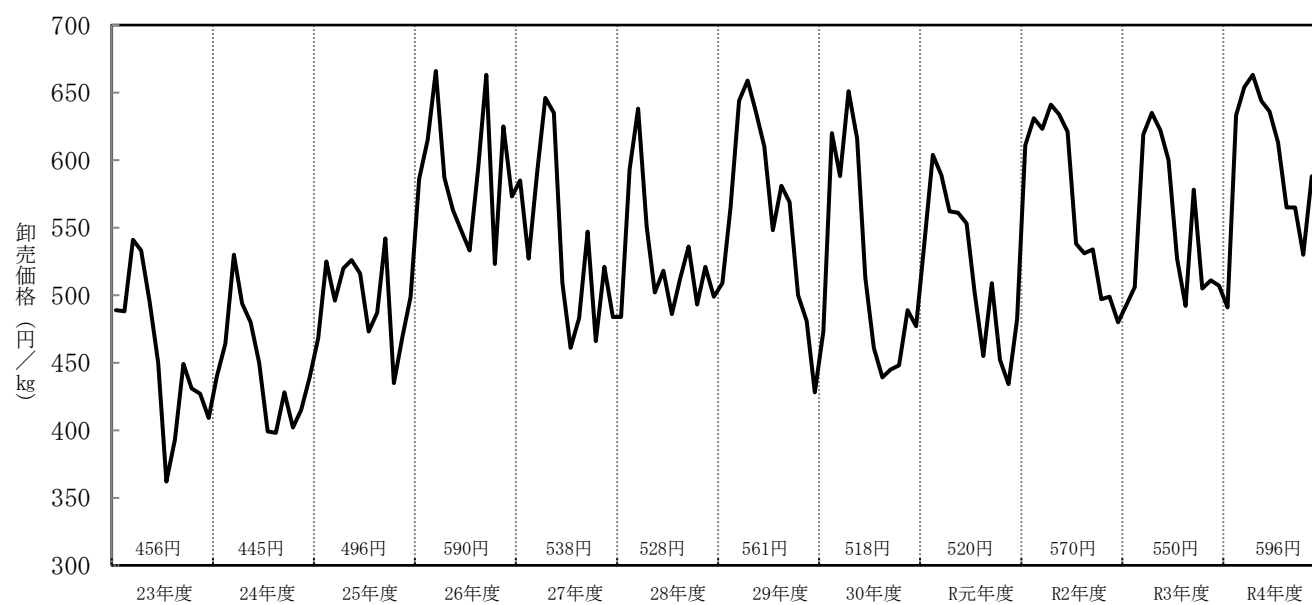
(4) 豚枝肉の卸売価格（東京市場省令規格）

(単位：円/kg)

区分	S55年	60年	H2年	7年	12年	17年	22年	27年	R2	R3	R4
価格	628	601	486	458	436	480	462	557	561	546	582

資料：畜産物流通統計

<参考> 豚枝肉の卸売価格の推移（東京市場「上」）



資料：農林水産省食肉流通統計、食肉市況情報

4 鶏 卵



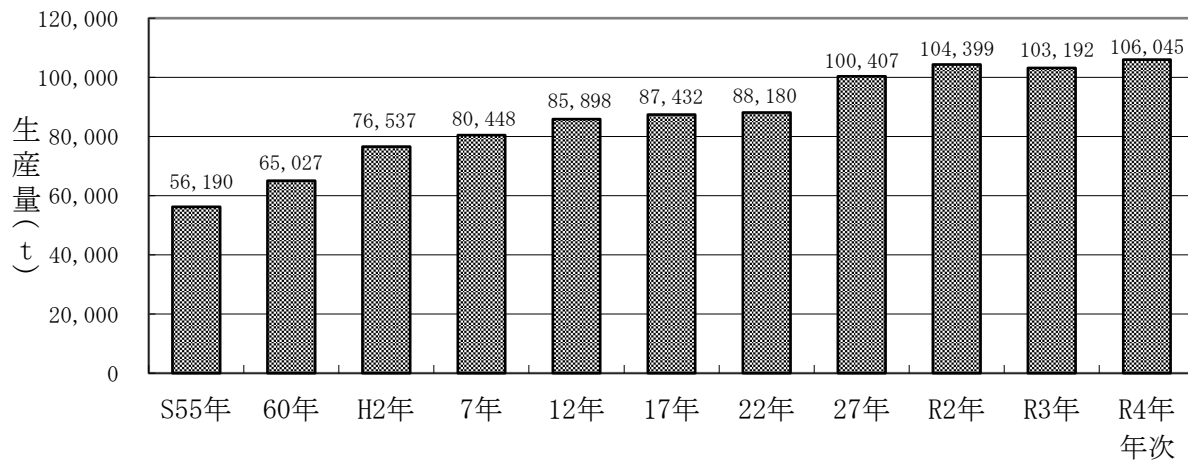
(1) 鶏卵の生産量及び出荷量

令和4年の本県鶏卵の生産量は、前年に比べて2.8%増の106,045tとなっている。

(単位：t)

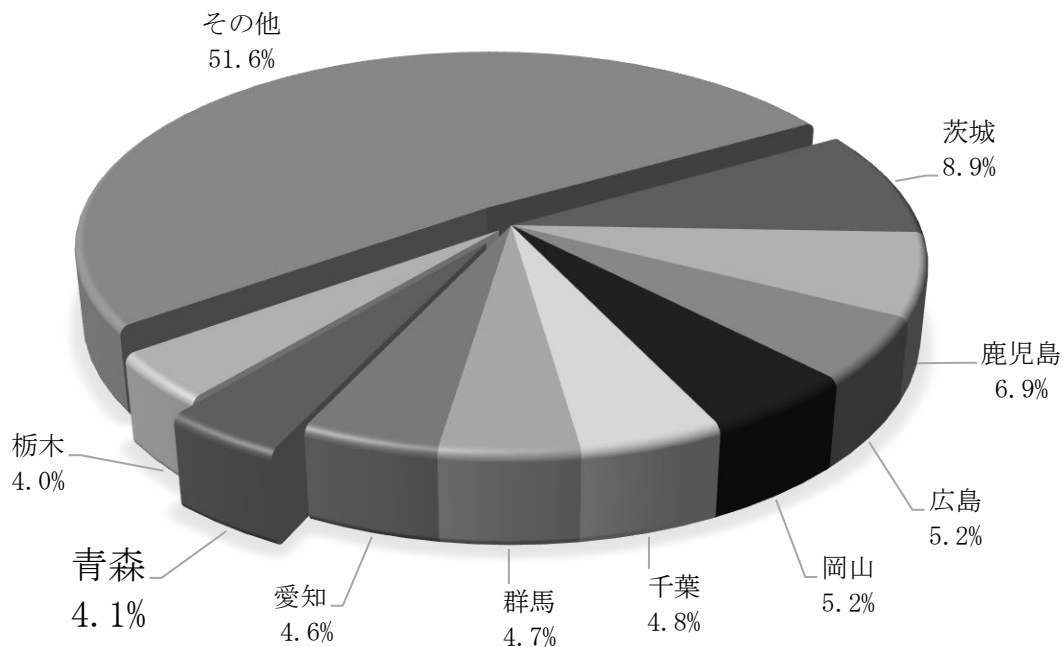
区分	S55年	60年	H2年	7年	12年	17年	22年	27年	R2年	R3年	R4年
生産量	56,190	65,027	76,537	80,448	85,898	87,432	88,180	100,407	104,399	103,192	106,045
出荷量	55,108	63,602	74,881	77,808	83,858	85,597	86,538				

※出荷量は平成27年以降データなし



資料：畜産物流通統計

(2) 鶏卵の都道府県別生産量（令和4年次）



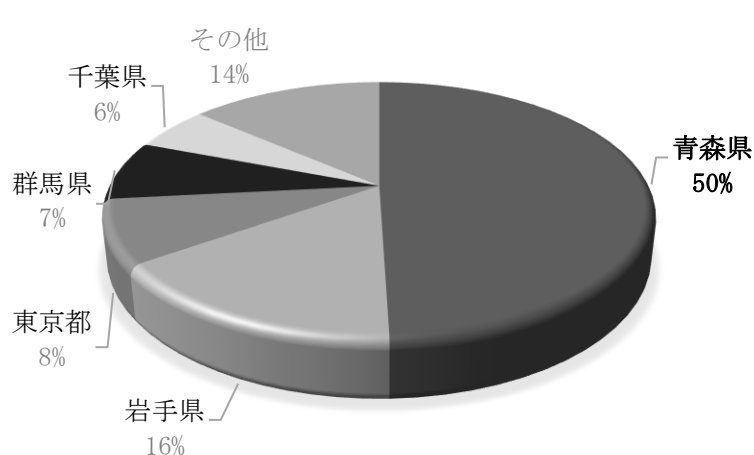
内訳	茨城	鹿児島	広島	岡山	千葉	群馬	愛知	青森	栃木	その他	合計
生産量	231,362	179,337	136,315	133,996	125,451	121,140	120,002	106,045	102,804	1,340,273	2,596,725
割合	8.9%	6.9%	5.2%	5.2%	4.8%	4.7%	4.6%	4.1%	4.0%	51.6%	

※青森県は全国8位 割合4.1%

資料：畜産物流通統計

(3) 東京都中央卸売市場入荷量に占める県産鶏卵の割合（令和4年次）

本県産鶏卵の東京都中央卸売市場への入荷量は、全国第1位の4,318tで、全入荷量の50%を占めている。



(単位：t)

内訳	入荷量	割合
青森県	4,318	50%
岩手県	1,370	16%
東京都	709	8%
群馬県	652	7%
千葉県	484	6%
その他	1,189	14%
計	8,722	

資料：東京都中央卸売市場統計情報



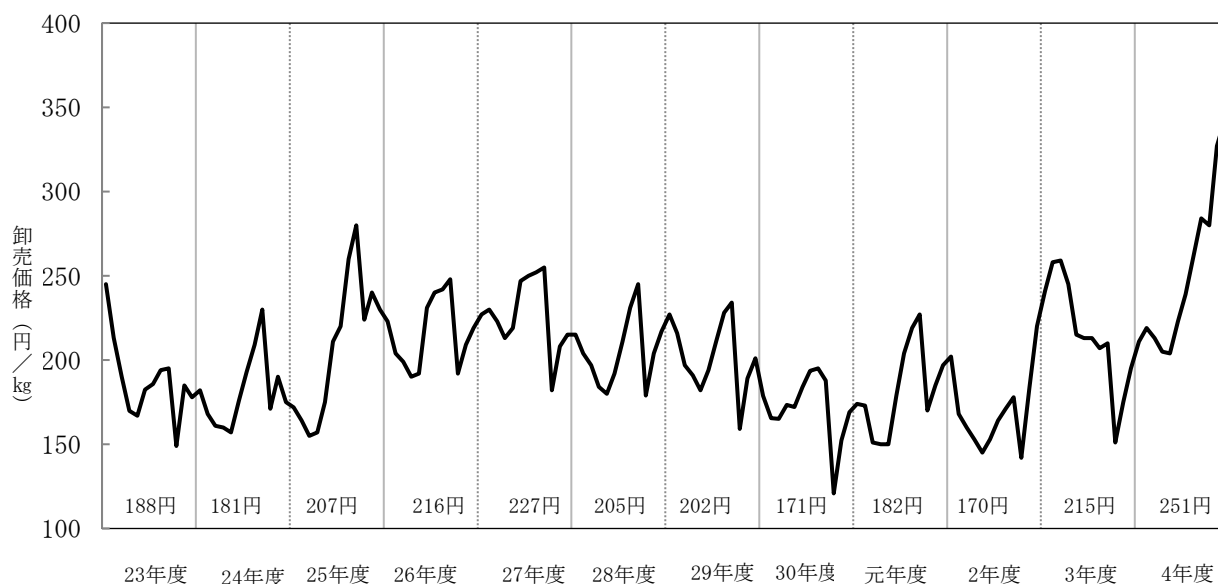
(4) 鶏卵の卸売価格（東京市場、規格「M」）

(単位：円/kg)

区分	S55年度	60年度	H2年度	7年度	12年度	17年度	21年度	26年度	30年度	R2年度	R3年度	R4年度
卸売価格	300	279	241	197	185	167	175	216	171	170	215	251

資料：JA全農たまご（株）「たまご相場」
(昭和60年までは畜産物流通統計)

<参考> 鶏卵卸売価格の推移（東京市場、規格「M」）



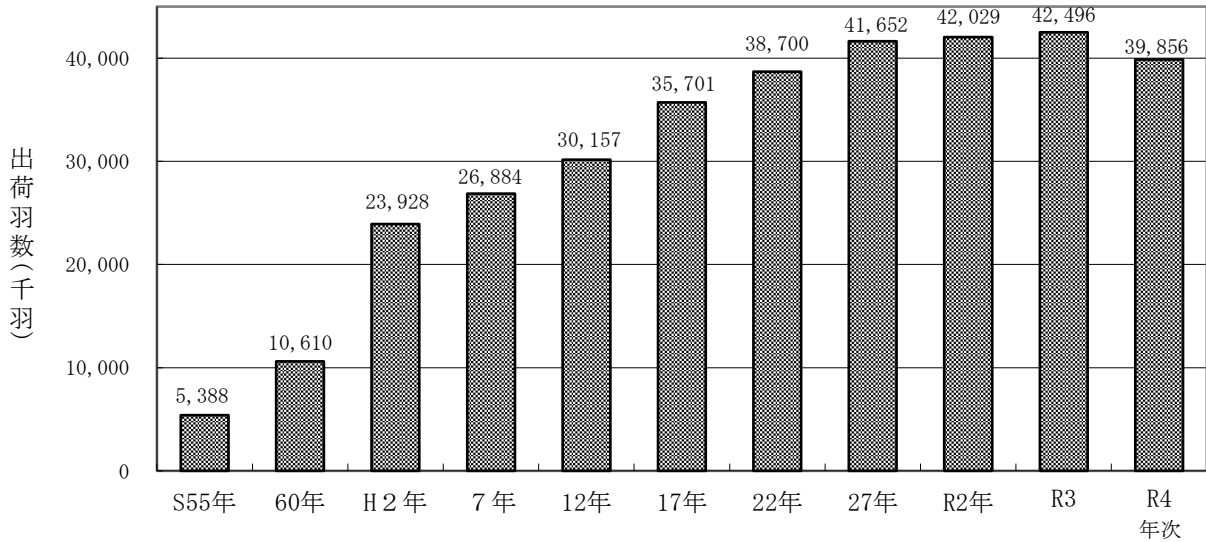
資料：全農畜産販売部情報

5 ブロイラー



(1) ブロイラー出荷羽数

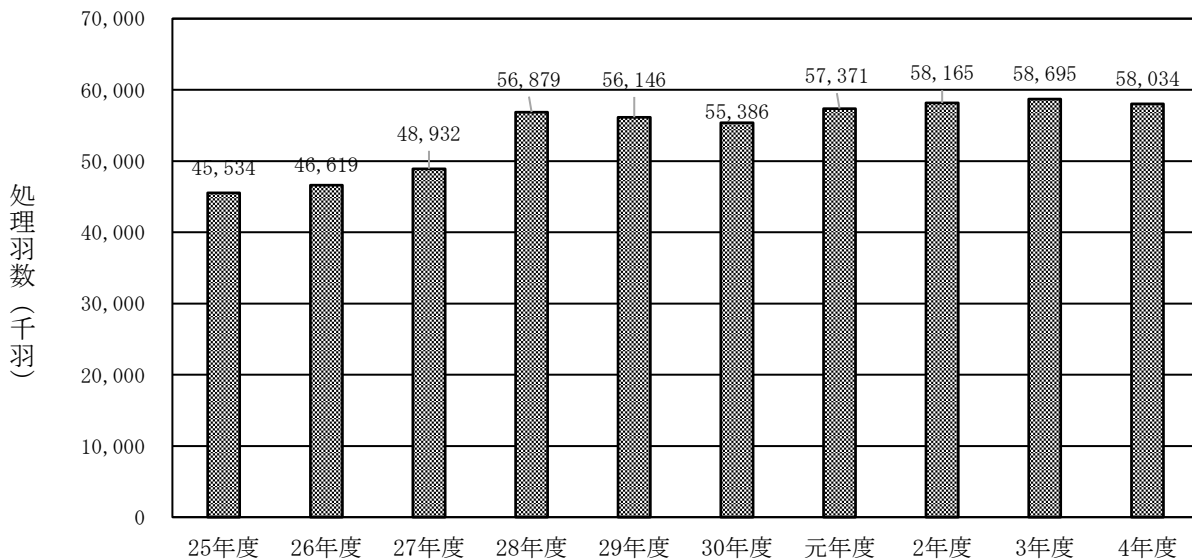
令和4年の出荷羽数は、前年に比べて6.2%減の39,856千羽となっている。



資料：畜産統計

(2) ブロイラー処理量

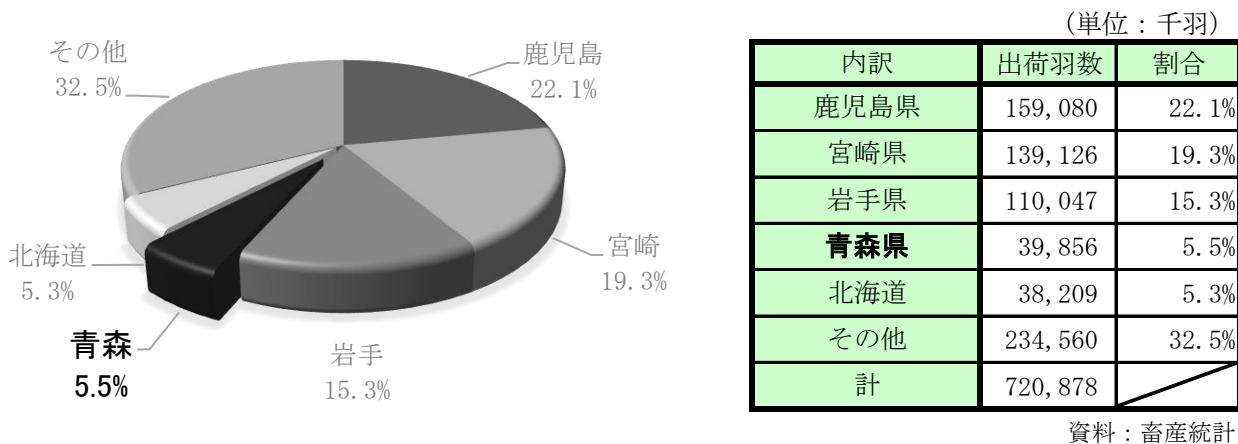
令和4年度の県内処理羽数は、前年に比べて1.1%減の58,034千羽となっている。



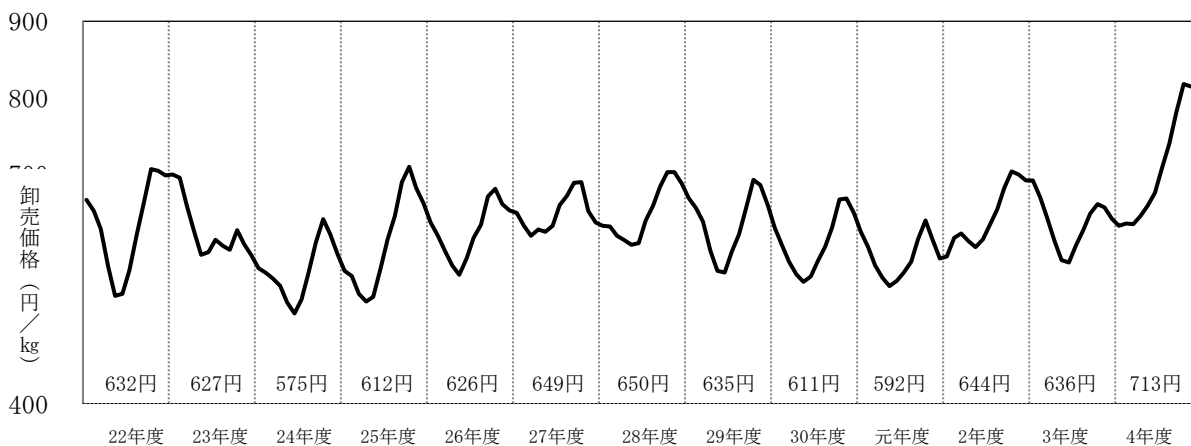
資料：県食肉衛生検査所調査

(3) ブロイラーの都道府県別出荷羽数（令和4年次）

本県産ブロイラーの出荷羽数は、全国4位の39,856千羽で全体の5.5%を占めている。



(4) 鶏肉の卸売価格の推移（東京市場、もも肉）



資料：食鳥市況情報、ブロイラー卸売価格

6 畜産物支出金額、購入数量

1人当たり支出金額、購入数量（令和4年次）

(単位：円、g、本)

区分		消費支出	食料費						
			牛乳※	卵	牛肉	豚肉	鶏肉	生鮮魚介	
青森市 世帯人数 2.83人	支出金額	1,058,629	328,102	5,070	2,655	5,348	11,973	5,824	13,847
	購入数量	—	—	128	11,842	1,811	8,793	5,763	10,063
全国 世帯人数 2.91人	支出金額	1,199,444	337,684	5,155	3,533	7,682	11,164	5,970	13,812
	購入数量	—	—	126	10,974	2,131	7,662	6,226	6,707

※牛乳の購入数量は200ml 1本換算

資料：家計調査年報

第5章 畜産物の生産費と収益性

1 生 乳

(1) 生乳生産費

令和3年の生乳100kg（乳脂肪分3.5%換算乳量）当たりの費用合計は10,589円となり、流通飼料費（39.6%）と労働費（19.6%）が高い割合を占めている。

（単位：円/100kg）

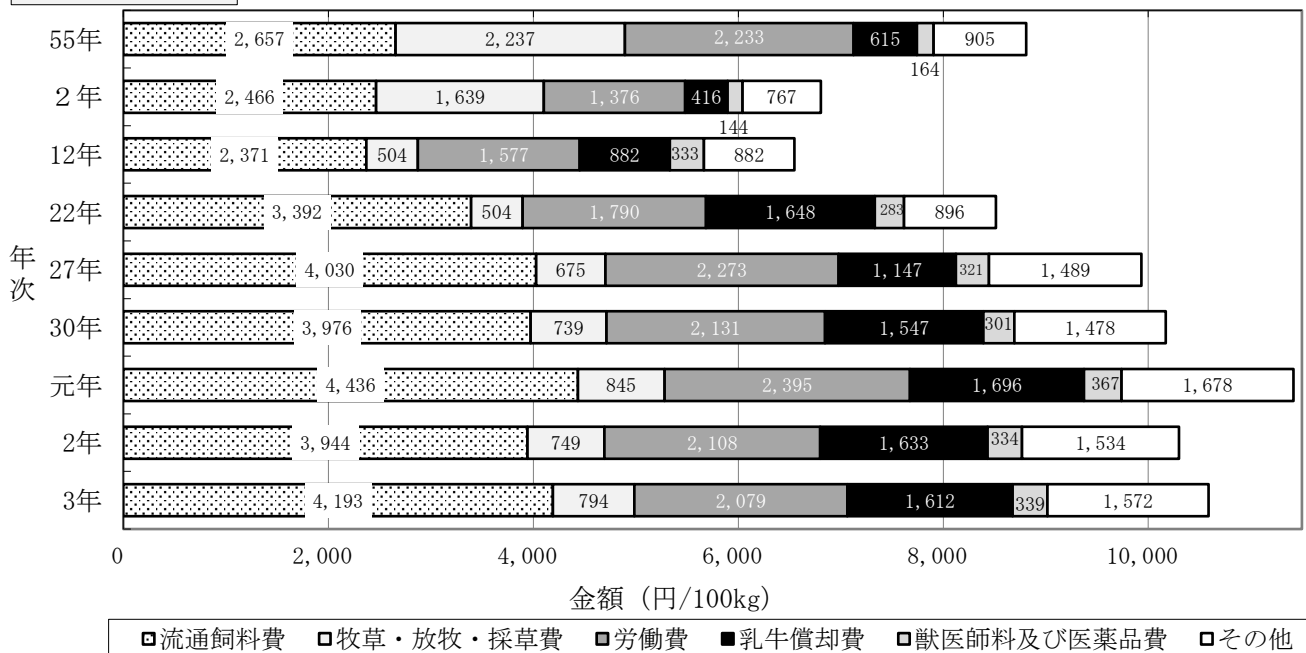
区分	S55年	60年	H2年	7年	12年	17年	22年	28年	30年	R元年	R2年	R3年
生産費	8,101	7,631	5,677	6,421	6,747	7,290	8,490	9,152	9,077	9,920	8,957	9,311
費用合計	8,811	8,044	6,808	6,697	6,549	7,313	8,513	9,935	10,172	11,417	10,302	10,589

※平成12年から調査期間変更。

資料：畜産物生産費統計

※平成25年から青森県データが非公表のため東北データを用いた。

費用合計の内訳



生産費 = 費用合計 - 副産物価格

全算入生産費 = 生産費 + 支払利子 + 支払地代 + 自己資本利子 + 自作地地代

(2) 生乳生産における収益性

令和3年の搾乳牛1頭当たり（通年換算）の所得は、前年に比べて9.0%減の246,612円となっている。

（単位：円）

区分	S55年	60年	H2年	7年	12年	17年	22年	28年	30年	R元年	R2年	R3年
収益性	196,813	198,860	291,629	259,396	204,675	145,955	164,052	255,459	247,725	272,815	271,034	246,612
家族労働報酬（1日）	6,506	8,864	17,379	14,893	13,473	10,656	10,180	14,192	15,471	16,938	16,614	14,957

※平成10年から労働費の算出方法が変更されている。

資料：畜産物生産費統計

※平成25年から青森県データが非公表のため東北データを用いた。

2 肉 用 牛

(1) 子牛生産費

令和3年の子牛1頭当たりの費用合計は、733,504円となり、流通飼料費(29.0%)と労働費(24.5%)が高い割合を占めている。

(単位：円/頭)

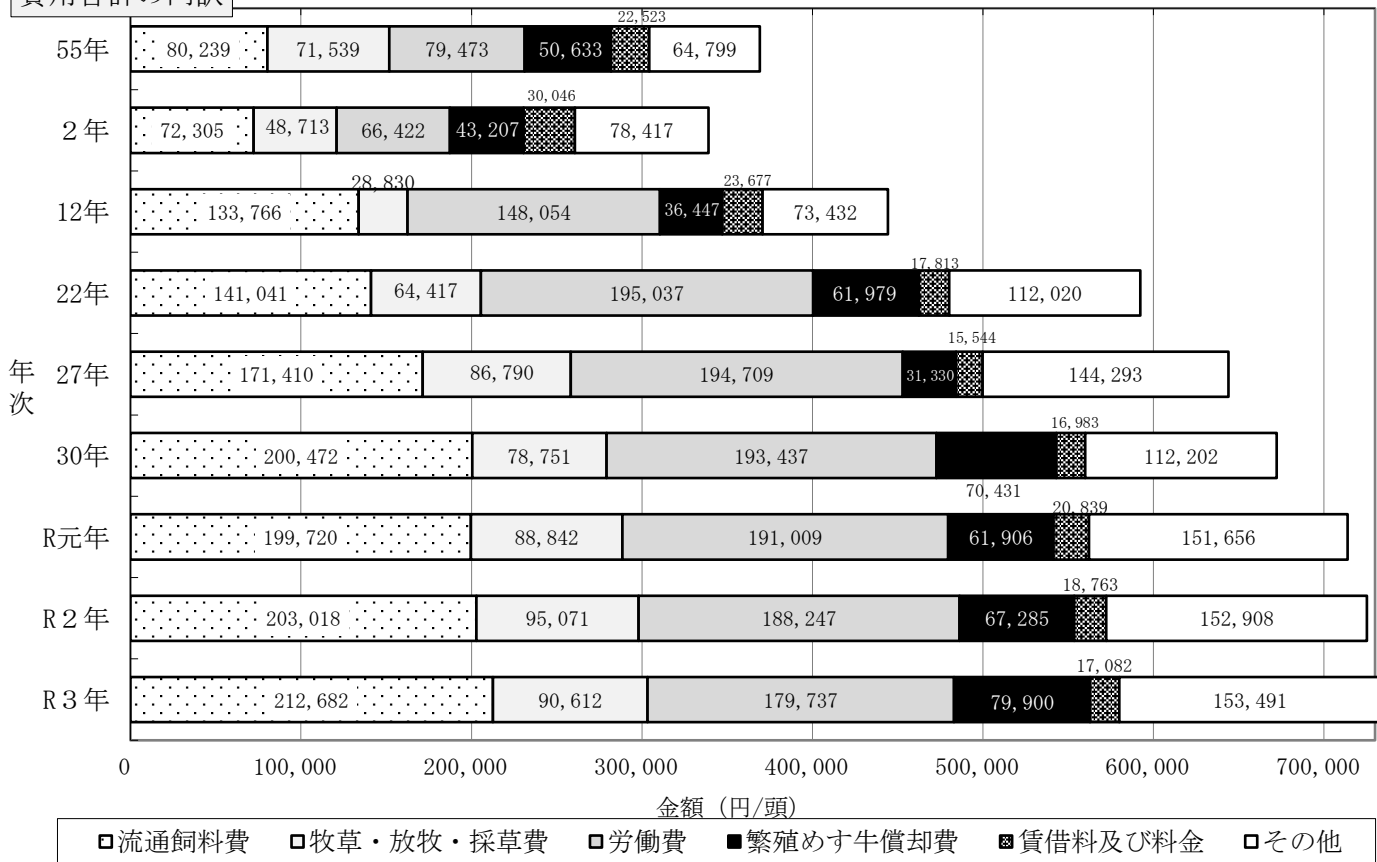
区分	S55年	60年	H2年	7年	12年	17年	22年	27年	30年	R元年	R2年	R3年	
生産費	全算入生産費	410,203	397,362	381,656	350,671	468,405	666,565	721,846	712,172	800,650	787,152	800,524	823,830
	費用合計	369,206	367,095	339,110	328,614	444,206	551,043	586,878	644,076	720,220	713,972	725,292	733,504

※平成12年から調査期間変更。

資料：畜産物生産費統計

※平成24年から青森県データが非公表のため、東北データを用いた。

費用合計の内訳



(2) 子牛生産における収益性

令和3年の繁殖めす牛1頭当たりの所得は、前年に比べて32.3%増の141,728円となっている。

(単位：円)

区分	S55年	60年	H2年	7年	12年	17年	22年	27年	30年	R元年	R2年	R3年	
収益性	所得	42,251	△ 78,645	218,787	8,545	54,141	132,956	△10,089	220,427	192,598	185,295	107,123	141,728
	家族労働報酬(1日)	△ 21,114	△ 15,064	15,894	△ 3,586	△ 637	1,526	-	8,384	6,155	6,101	839	2,051

※平成10年から労働費の算出方法が変更されている。

資料：畜産物生産費統計

※平成24年から青森県データが非公表のため、東北データを用いた。

(3) 肥育牛（去勢若齢）生産費

令和3年の肥育牛1頭当たりの費用合計は、1,384,516円となり、もと畜費（60.9%）と流通飼料費（26.9%）が高い割合を占めている。

(単位：円/頭)

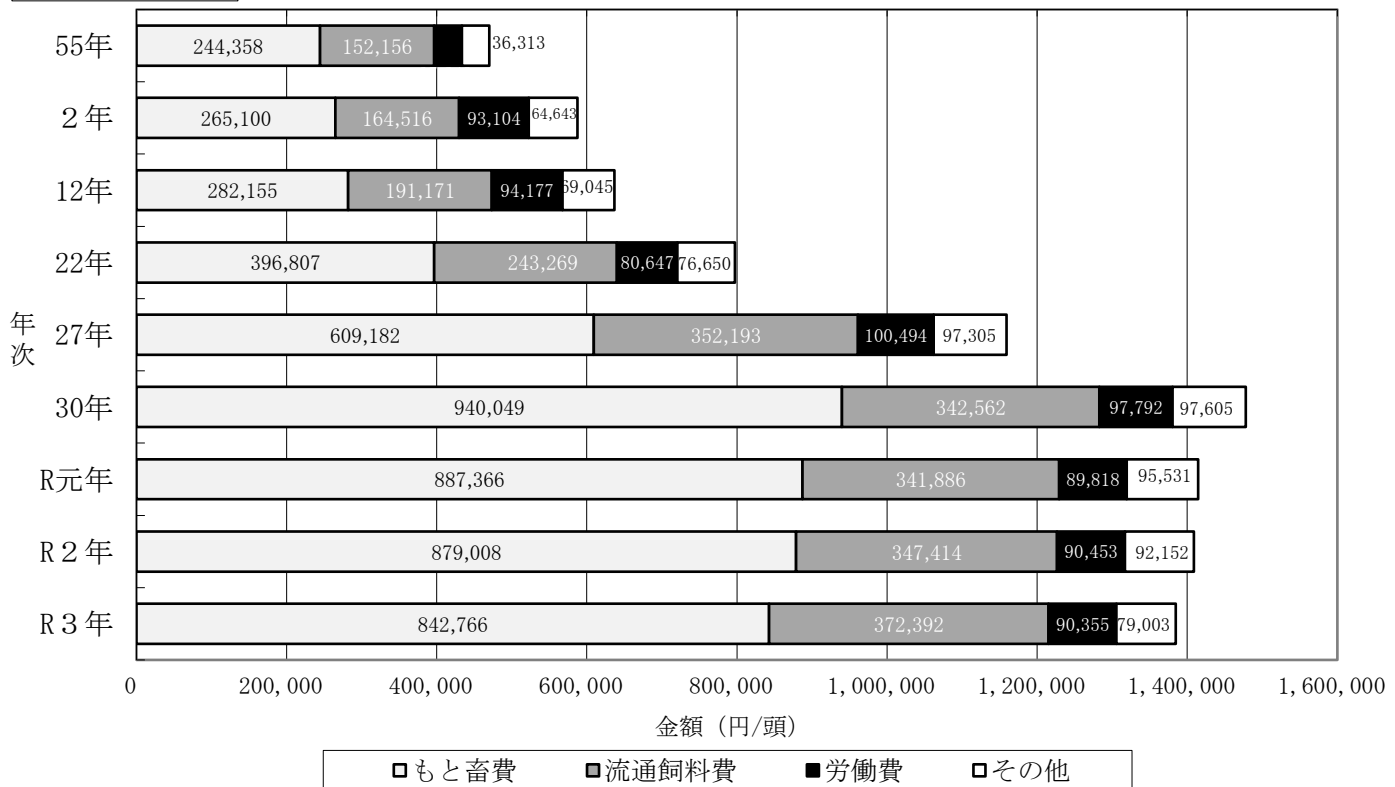
区分	S55年	60年	H2年	7年	12年	17年	22年	27年	30年	R元年	R2年	R3年	
生産費	全算入生産費	476,799	406,732	565,619	458,050	623,381	819,921	825,090	1,175,121	1,490,823	1,422,333	1,413,614	1,409,475
	費用合計	470,076	416,459	587,363	455,719	636,548	815,171	797,373	1,159,174	1,478,008	1,414,601	1,409,027	1,384,516

※平成10年から労働費の算出方法変更。12年から調査期間変更。

資料：畜産物生産費統計

※平成25年から青森県データが非公表のため東北データを用いた。

費用合計の内訳



(4) 肥育牛（去勢若齢）生産の収益性

令和3年の肥育牛1頭当たりの所得は、22,358円となっている。

(単位：円)

区分	S55年	60年	H2年	7年	12年	17年	22年	27年	30年	R元年	R2年	R3年	
収益性	所得(1頭)	66,515	83,536	101,135	95,105	8,857	192,233	8,866	165,800	△ 19,419	△ 26,221	△ 120,814	22,358
	家族労働報酬(1日)	7,089	12,542	7,016	13,760	2,594	25,544	—	18,394	—	—	—	918

※平成25年から青森県データが非公表のため東北データを用いた。

資料：畜産物生産費統計

3 豚

(1) 肥育豚生産費

令和3年の肥育豚1頭当たりの費用合計は、41,754円となり、流通飼料費（67.3%）と労働費（12.0%）が高い割合を占めている。

(単位：円/頭)

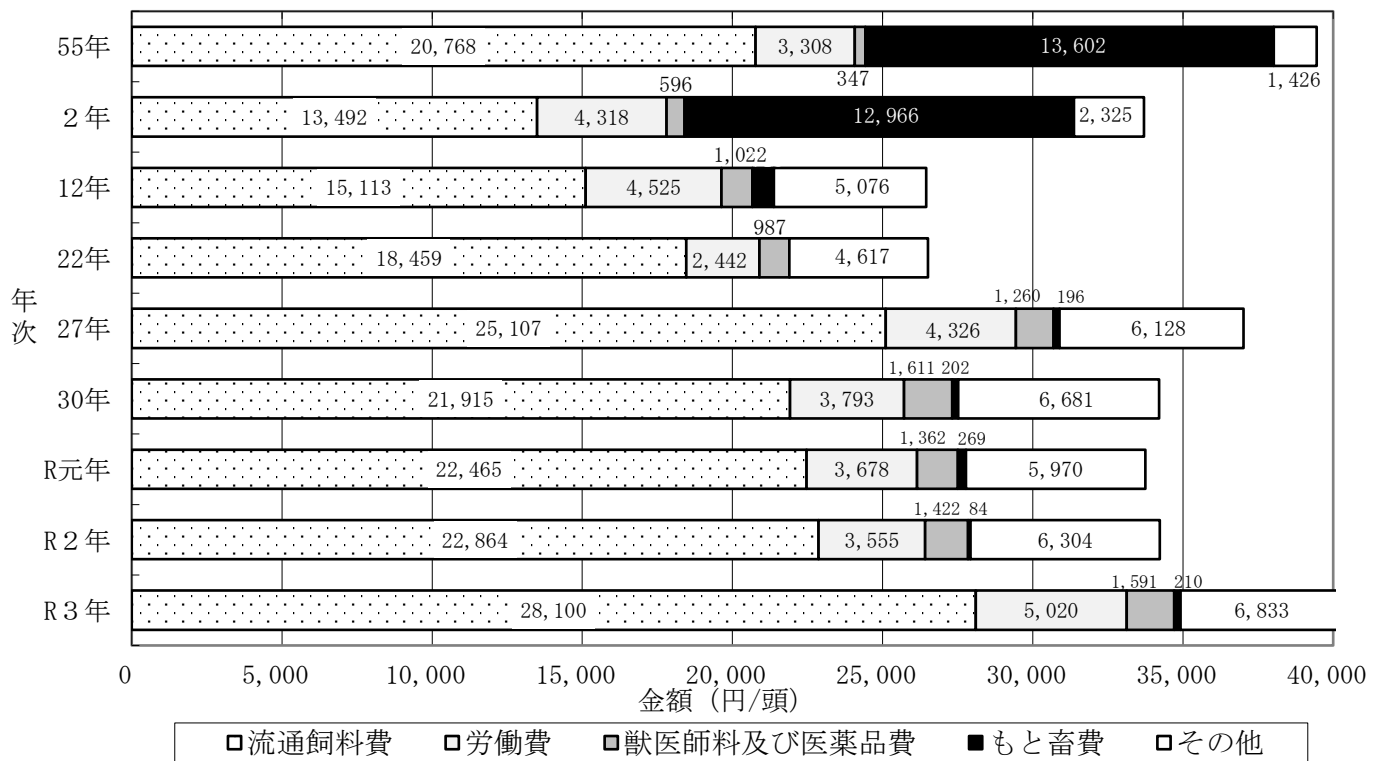
区分	S55年	60年	H2年	7年	12年	17年	22年	27年	30年	R元年	R2年	R3年
全算入生産費	39,526	46,560	32,612	25,050	27,324	24,751	26,837	36,897	33,939	33,621	33,867	41,083
費用合計	39,451	47,355	33,697	24,923	26,449	24,360	26,505	37,017	34,202	33,744	34,229	41,754

※平成5年から調査対象農家を肥育経営農家から一貫経営農家へ変更している。

資料：畜産物生産費統計

※平成24年から青森県データが非公表のため、東北データを用いた。

費用合計の内訳



(2) 肥育豚生産の収益性

令和3年の肥育豚1頭当たりの所得は、前年に比べて71.2%減の2,060円となっている。

(単位：円)

区分	S55年	60年	H2年	7年	12年	17年	22年	27年	30年	R元年	R2年	R3年
所得 (1頭)	△ 496	1,705	△ 317	7,000	5,314	7,945	5,935	5,234	4,777	5,746	7,149	2,060
家族労働報酬 (1日)	—	1,882	△ 1,606	17,600	9,442	26,016	28,281	13,782	13,339	17,259	22,482	3,276

※平成24年から青森県データが非公表のため、東北データを用いた。

資料：畜産物生産費統計

※平成29年からデータなし。